

令和6年度

# 授業概要

Syllabus

理学療法学科

土佐リハビリテーションカレッジ

理学療法学科教育課程表

区分	教育内容	授 業			単 位 数				卒業要件 単位数	指定規則				
		科 目 名	実務	形式	種類	1年	2年	3年			4年			
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解	人間科学概論		講義	必修	2				17	14			
		社会福祉学概論		講義	必修		2							
		日本語表現法		講義	必修	2								
		保健用語		講義	必修	2								
		基礎英語		講義	必修	2								
		医学英語		講義	必修		2							
		医療統計学		講義	必修	2								
		情報処理入門		演習	必修	1								
		医療コミュニケーション論		演習	必修	1								
		保健体育		実技	必修	1								
小 計					13	4	0	0						
専門基礎分野	人体の構造と機能 及び心身の発達	人体の構造機能入門		講義	必修	1				28	12			
		人体の構造Ⅰ		講義	必修	3								
		人体の構造Ⅱ		講義	必修	3								
		人体の機能Ⅰ		講義	必修	3								
		人体の機能Ⅱ		講義	必修	3								
		人体の構造機能演習		演習	必修	1								
		脳科学概論		講義	必修	2								
		人間発達学		講義	必修	2								
		運動学Ⅰ（総論・下肢）		講義	必修	2								
		運動学Ⅱ（上肢・体幹）		講義	必修	2								
		運動学実習		実習	必修	1								
		体表解剖学		実習	必修		1							
		運動生理学		講義	必修		2							
		神経生理学		講義	必修		2							
		疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	病理学		講義	必修	2						20	14
			病理学演習		演習	必修	1							
			内科学		講義	必修		2						
			整形外科科学		講義	必修		2						
			精神医学		講義	必修		2						
小児科学			講義	必修		2								
神経内科学			講義	必修		2								
臨床心理学			講義	必修		2								
整形外科科学演習			演習	必修		1								
神経内科学演習			演習	必修		1								
精神医学演習			演習	必修		1								
栄養と薬剤			講義	必修			1							
災害と救急救命			講義	必修			1							
保健医療福祉と リハビリテーションの理念	リハビリテーション概論		講義	必修	2				6	4				
	リハビリテーション医学		講義	必修	2									
	医療倫理学		講義	必修	1									
	作業療法概論		講義	必修			1							
小 計					31	20	3	0	54	30				

区分	教育内容	授 業				単 位 数				卒業要件 単位数	指定規則			
		科 目 名	実務	形式	種類	1年	2年	3年	4年					
専 門 分 野	基礎理学療法学	理学療法概論Ⅰ（総論）	○	講義	必修	1				9	6			
		理学療法概論Ⅱ（評価・治療学）	○	講義	必修	1								
		理学療法研究法	○	講義	必修			1						
		臨床実習入門		講義	必修			1						
		理学療法セミナーⅠ（卒業研究計画）		演習	必修			1						
		理学療法セミナーⅡ（国家試験対策）		演習	必修				2					
		卒業研究		演習	必修				2					
	理学療法管理学	理学療法部門管理論		講義	必修			1		2	2			
		理学療法教育論		講義	必修			1						
	理学療法評価学	理学療法評価学Ⅰ（総論・バイタル・形態）	○	講義	必修	1				7	6			
		理学療法評価学Ⅱ（ROM・感覚）	○	講義	必修		1							
		理学療法評価学Ⅲ（筋力）	○	講義	必修		1							
		理学療法評価学Ⅳ（神経・画像評価）	○	講義	必修		1							
		理学療法評価実習	○	実技	必修		1							
		理学療法評価法演習	○	演習	必修		1							
		運動分析学	○	講義	必修		1							
	理学療法治療学	運動療法学Ⅰ（総論）	○	講義	必修		1			26	20			
		運動療法学Ⅱ（障害別各論）	○	講義	必修		1							
		物理療法学Ⅰ（温熱・光線療法）	○	講義	必修			1						
		物理療法学Ⅱ（電気療法）	○	講義	必修			1						
		装具療法学Ⅰ（下肢）	○	講義	必修		1							
		装具療法学Ⅱ（上肢・体幹）	○	講義	必修		1							
		義肢学		講義	必修			1						
		義肢装具学演習		演習	必修			1						
		日常生活活動学Ⅰ（総論）	○	講義	必修		1							
		日常生活活動学Ⅱ（障害別各論）	○	講義	必修		1							
		神経障害理学療法学Ⅰ（脳卒中）	○	講義	必修		1							
		神経障害理学療法学Ⅱ（神経筋疾患）	○	講義	必修		1							
		神経障害理学療法学Ⅲ（脊髄損傷）	○	講義	必修			1						
		発達障害理学療法学	○	講義	必修			1						
		運動器障害理学療法学Ⅰ（下肢）	○	講義	必修		1							
		運動器障害理学療法学Ⅱ（上肢）	○	講義	必修		1							
		運動器障害理学療法学Ⅲ（体幹）	○	講義	必修			1						
		スポーツ理学療法学		講義	必修			1						
		内部障害理学療法学Ⅰ（呼吸）	○	講義	必修			1						
		内部障害理学療法学Ⅱ（循環）		講義	必修			1						
		内部障害理学療法学Ⅲ（代謝・腎・がん）	○	講義	必修			1						
		医療機器概論		講義	必修			1						
		理学療法技術論（熱傷・褥瘡含む）	○	講義	必修			1						
		理学療法特論Ⅰ（臨床思考）		講義	必修			1						
		理学療法特論Ⅱ（症例検討）	○	講義	必修			1						
		理学療法特論Ⅲ（理学療法トピックス）		講義	必修				1					
		地域理学療法学	地域リハビリテーション学	○	講義	必修			1				3	3
			地域リハビリテーション演習	○	演習	必修			1					
			地域理学療法学		講義	必修			1					
		臨床実習	見学実習Ⅰ		実習	必修	1						22	20
	見学実習Ⅱ（訪問・通所リハ）			実習	必修			1						
臨床評価実習			実習	必修		3								
臨床総合実習Ⅰ			実習	必修			7							
臨床総合実習Ⅱ			実習	必修				10						
小 計					4	19	30	16	69	57				
総 計					48	43	33	16	140	101				

## 令和6年度 授業時間割表（2学年）

### 前期時間割

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1時限目 9:00 ～ 10:30	理学療法評価学Ⅱ 近藤 102講義室	運動療法学Ⅰ 竹林 102講義室	整形外科学演習 奥田 102講義室		精神医学 藤田・上村 306中講義室	
2時限目 10:40 ～ 12:10	精神医学演習 井上 102講義室	装具療法学Ⅰ 渡邊 102講義室	神経障害理学療法学Ⅰ 渡邊 102講義室	日常生活活動学Ⅰ 井上 102講義室	運動器障害理学療法学Ⅰ 奥田 102講義室	
3時限目 13:20 ～ 14:50	体表解剖学 岡部 204評価治療室	神経生理学 岡部 102講義室	整形外科学 宅間 306中講義室	理学療法評価学Ⅲ 宮本（祥） 205レクリエーション室	理学療法評価学Ⅳ 岡部 102・204評価治療室	
4時限目 15:00 ～ 16:30			内科学 高知大学医学部スタッフ他 306中講義室		医学英語 宮本（祥） 102講義室	
5時限目 16:40 ～ 18:10						

### 後期時間割

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1時限目 9:00 ～ 10:30	理学療法評価法演習 宮本 102講義室	神経内科学（10～2月予定） 大崎 他 306中講義室	運動器障害理学療法学Ⅱ 奥田 102講義室		運動生理学 宅間 102講義室	
2時限目 10:40 ～ 12:10	運動療法学Ⅱ 竹林 102・204評価治療室	神経内科学（11～2月予定） 大崎 他 306中講義室	運動分析学 渡邊 102講義室	神経障害理学療法学Ⅱ 渡邊 102講義室	装具療法学Ⅱ 渡邊 102講義室	
3時限目 13:20 ～ 14:50	神経内科学演習 岡部 102講義室	小児科学 島崎 306中講義室	理学療法評価実習 奥田・渡邊・近藤 204評価治療室・205レク室	日常生活活動学Ⅱ 井上 102講義室	臨床心理学 鹿間 306中講義室	
4時限目 15:00 ～ 16:30			理学療法評価実習 奥田・渡邊・近藤 204評価治療室・205レク室		社会福祉学概論 稲垣 306中講義室	
5時限目 16:40 ～ 18:10						

（注）時間割は原則的なものであり変更する場合があります。

## 令和6年度 授業時間割表（3学年）

### 前期時間割

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1時限目 9:00 ～ 10:30	地域リハビリテーション学 井上 402講義室	物理療法学Ⅰ 岡部 402・204評価治療室	作業療法概論 作業療法学科教員 402講義室	理学療法セミナーⅠ 全教員 各セミナー室	義肢学：鶴見 または 内部障害理学療法学Ⅱ 大重・近藤 他	
2時限目 10:40 ～ 12:10	運動器障害理学療法学Ⅲ 奥田 402講義室	神経障害理学療法学Ⅲ 宮本（祥） 402講義室	理学療法研究法 竹林他 402講義室	理学療法特論Ⅰ 川村 402講義室	義肢学：鶴見 または 内部障害理学療法学Ⅱ 大重・近藤 他	
3時限目 13:20 ～ 14:50	地域リハビリテーション演習 近藤 402講義室	災害と救急救命 武田 他 または 栄養と薬剤 大坪・長崎	理学療法技術論 宮本省三 他 402講義室	内部障害理学療法学Ⅰ 宅間 402・204評価治療室	地域リハビリテーション学 滝本 402講義室	
4時限目 15:00 ～ 16:30		災害と救急救命 武田 他 または 栄養と薬剤 大坪・長崎	理学療法技術論 宮本省三 他 402講義室		地域リハビリテーション学 滝本 402講義室	
5時限目 16:40 ～ 18:10						

### 後期時間割

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1時限目 9:00 ～ 10:30	内部障害理学療法学Ⅲ 近藤 402講義室	スポーツ理学療法学 竹林 402講義室	物理療法学Ⅱ 岡部 402・204評価治療室	地域理学療法学 吉良 402講義室	発達障害理学療法学 宮本（祥） 402講義室	
2時限目 10:40 ～ 12:10	内部障害理学療法学Ⅲ 近藤 402講義室	スポーツ理学療法学 竹林 402講義室	物理療法学Ⅱ 岡部 402講義室	地域理学療法学 吉良 402講義室	発達障害理学療法学 宮本（祥） 402講義室	
3時限目 13:20 ～ 14:50	理学療法特論Ⅱ 奥田 402講義室	理学療法教育論 宮本・奥田・近藤 402講義室	義肢装具学演習 小谷 303ADL室	臨床実習入門 宅間 他 402講義室	理学療法管理論 非常勤講師 402講義室	
4時限目 15:00 ～ 16:30			義肢装具学演習 小谷 303ADL室	臨床実習入門 宅間 他 402講義室	医療機器概論 非常勤講師 402講義室	
5時限目 16:40 ～ 18:10						

- （注1）時間割は原則的なものであり変更する場合があります。  
 （注2）内部障害理学療法学Ⅱは9月に集中講義の予定があります。

令和6年度 授業時間割表（4学年）

前期時間割

4月8日（月）～5月10日（金）

症 例 報 告 会 他

5月13日（月）～7月20日（土）

臨床総合実習Ⅱ

7月29日（月）～8月2日（土）

見学実習Ⅱ

後期時間割

9月30日（月）～3月8日（土）

理 学 療 法 セ ミ ナ ー Ⅱ  
理 学 療 法 特 論 Ⅲ  
卒 業 研 究

## 2～4年生理学療法学科教育課程表 目次

基礎分野	頁	専門分野	頁
社会福祉学概論	1	理学療法研究法	18
医学英語	2	臨床実習入門	19
		理学療法セミナーⅠ(卒業研究計画)	20
		理学療法セミナーⅡ(国家試験対策)	21
		卒業研究	22
		理学療法部門管理論	23
		理学療法教育論	24
		理学療法評価学Ⅱ(ROM・感覚)	25
		理学療法評価学Ⅲ(筋力)	26
		理学療法評価学Ⅳ(神経・画像評価)	27
		理学療法評価法実習	28
		理学療法評価法演習	29
		運動分析学	30
		運動療法学Ⅰ(総論)	31
		運動療法学Ⅱ(障害別各論)	32
		物理療法学Ⅰ(温熱・光線療法)	33
		物理療法学Ⅱ(電気療法)	34
		装具療法学Ⅰ(下肢)	35
		装具療法学Ⅱ(上肢・体幹)	36
		義肢学	37
		義肢装具学演習	38
		日常生活活動学Ⅰ(総論)	39
		日常生活活動学Ⅱ(障害別各論)	40
		神経障害理学療法学Ⅰ(脳卒中)	41
		神経障害理学療法学Ⅱ(神経筋疾患)	42
		神経障害理学療法学Ⅲ(脊髄損傷)	43
		発達障害理学療法学	44
		運動器障害理学療法学Ⅰ(下肢)	45
		運動器障害理学療法学Ⅱ(上肢)	46
		運動器障害理学療法学Ⅲ(体幹)	47
		スポーツ理学療法学	48
		内部障害理学療法学Ⅰ(呼吸)	49
		内部障害理学療法学Ⅱ(循環)	50
		内部障害理学療法学Ⅲ(代謝・腎・がん)	51
		医療機器概論	52
		理学療法技術論(熱傷・褥瘡含む)	53
		理学療法特論Ⅰ(臨床思考)	54
		理学療法特論Ⅱ(症例検討)	55
		理学療法特論Ⅲ(理学療法トピックス)	56
		地域リハビリテーション学	57
		地域リハビリテーション演習	58
		地域理学療法学	59
		見学実習Ⅱ	60
		臨床評価実習	61
		臨床総合実習Ⅰ	62
		臨床総合実習Ⅱ	63

### 専門基礎分野

	頁
体表解剖学	3
運動生理学	4
神経生理学	5
内科学	6
整形外科学	7
精神医学	8
小児科	9
神経内科学	10
臨床心理学	11
整形外科学演習	12
神経内科学演習	13
精神医学演習	14
栄養と薬剤	15
災害と救急救命	16
作業療法概論	17

# 基礎分野



授 業 科 目	単 位 数	年 次	学 期	時 間 数	担 当 教 員
(必) 社会福祉学概論	2	2	後期	30	(社会福祉学修士) 稲垣佳代<非常勤講師> 高知県立大学助教 社会福祉学部

### 授業概要

社会福祉の概念、法制、方法、動向などの基礎知識を習得する。さらに、具体の事例から、社会福祉の対象者が直面する「暮らしづらさ」とそれを支える社会福祉援助活動について考察することにより、実践科学としての社会福祉について理解を深める。講義を中心に展開する。

### 学習目標

1. 社会福祉にかかわる基礎知識を習得する。
2. 社会福祉援助活動の基本的枠組みについて理解する。
3. 社会福祉実践における専門性と理学療法士、作業療法士が有する専門性の共通項と差異を認識し、臨床場面において社会福祉専門職と連携を図るために必要な視点を習得する。

### 授業計画

回	主 題
1	社会の仕組みと人びとの暮らし
2	社会福祉とはなにか I (社会福祉の理念と概念)
3	社会福祉とはなにか II (社会福祉の対象と機能)
4	社会福祉の歴史
5	社会福祉とニード
6	社会福祉にかかわる法律・制度・施策 I
7	社会福祉にかかわる法律・制度・施策 II
8	社会福祉にかかわる法律・制度・施策 III
9	社会福祉に従事する人びと
10	社会福祉援助活動の基本的枠組み I
11	社会福祉援助活動の基本的枠組み II
12	社会福祉援助活動の展開 I
13	社会福祉援助活動の展開 I
14	まとめ
15	試験

### 履修の認定

出席 (30%)、期末試験 (筆記試験、レポート課題) (70%) を基準に、平常点を考慮し評価する。

### 教科書

1. 七訂版 社会福祉概論 西村昇・日開野博・山下正國 編 中央法規出版

### 参考書

授業中に適宜紹介する。

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 医学英語	2	2	前期	30	(学術修士) 宮本 祥子<本校講師> 理学療法士

### 授業概要

リハビリテーション医学分野で頻出する専門英語を日本語、英語両面から表現し、解説できることが第一の目標である。また、英語の学習を通して障害や疾患についての概要や病態生理の知識を整理する。授業の後半には、医学・保健に関する英文テキストを講読する。テキストの内容と英語論文の構成について理解して欲しい。

### 学習目標

1. リハビリテーション医学の基礎的な専門英語を単語レベルで日本語、英語両面から表現できる。
2. リハビリテーション医学分野で対象となる障害や疾患についての学術用語を英語で表現し、意味を解説できる。
3. 英文テキストの内容とテキストに出現する医療英単語が理解できる。
4. 英語論文の構成がわかる。

### 授業計画

回	主 題
1	身体運動の表現・指向語
2	疾患の名称
3	運動麻痺・筋緊張の異常
4	理学療法評価法
5	運動療法
6	異常歩行
7	1～6回のまとめ (中間テスト)
8	筋肉の名称
9	医学用語にみられる接頭語・接尾語の整理
10	英語論文の構成
11	英語論文の構成と最新のトピックス①
12	〃 ②
13	〃 ③
14	まとめ
15	期末試験

### 履修の認定

筆記試験 90%、授業内活動 (受講状況・課題の提出など) 10%

### 教科書

毎回担当教員が作成したプリントを配付する。

毎回、単語や文が翻訳できる機器 (ノート型PC、タブレット、電子辞書など) を必ず持参のこと。

### 参考書

1. リハビリテーションの基礎英語 第3版 清水雅子 (編著) MEDICAL VIEW 2017
2. VOA Learning English <https://learningenglish.voanews.com/>
3. リハビリテーション医学・医療用語集 第8版 日本リハビリテーション医学会編 2019
4. 理学療法学事典 奈良勲 (監修) 医学書院 2006

# 專門基礎分野

授業科目	単位数	年次	学期	時間数	担当教員
(必) 体表解剖学	1	2	前期	30	(教育学修士) 岡部 孝生<本校講師> 理学療法士

### 授業概要

1 年次において人体の構造 I・II や人体の構造機能入門、人体の構造機能演習などで人体の構造(解剖学)について学習した。本講義はそれらを基盤とし、1 年次に得た人体の構造に関する知識を理解に深めるものである。理学療法士は患者に対して非侵襲的に(皮膚の上から)治療していく職業である。そのため机上の知識だけでなく、皮膚の上から各組織を触察できる能力が不可欠であり、それについて学ぶのが体表解剖学である。本講義では理学療法士として必要な骨・筋・神経・動脈などの触察の必要性和、基本的な触察技術を身につけることを目的としている。

### 学習目標

1. 体表解剖学の必要性を知る。
2. 基本的な触察技術を身につける。
3. 体表解剖学を通して、身体構造の 3 次元的イメージを身につける。

### 授業計画

回	主 題
1	解剖学概論、骨触察の概論(代表的骨指標)
2	骨触察の各論 1(肩甲骨)
3	骨触察の各論 2(肩甲骨)
4	骨触察の各論 3(肩甲骨と鎖骨)
5	筋触察の各論 1(肩甲帯筋群 1)
6	筋触察の各論 2(肩甲帯筋群 2)
7	骨触察の各論 4(上肢)
8	筋触察の各論 3(上腕屈筋群)
9	筋触察の各論 4(前腕屈筋群)
10	骨触察の各論 5(下肢)
11	筋触察の各論 5(大腿後面筋群)
12	筋触察の各論 6(下腿前面筋群)
13	神経・動脈の各論 1(上肢・体幹)
14	神経・動脈の各論 2(下肢・体幹)
15	定期試験

### 履修の認定

実技試験(70%)、受講態度(30%)

### 教科書

1. 骨格筋の形と触察法 第2版 河上敬介、磯貝香(著) 大峰閣 2013

### その他

大型バスタオル1枚、水性(顔料)マーカー数色、ウェットティッシュを準備してください。

### 参考書

1. 運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢 第2版 林典雄 メジカルビュー社 2011
2. 運動療法のための機能解剖学的触診技術 下肢・体幹 第2版 林典雄 メジカルビュー社 2012
3. 触診機能解剖カラーアトラス上 竹井仁 文光堂 2008
4. 触診機能解剖カラーアトラス下 竹井仁 文光堂 2008
5. 図解 四肢と脊椎の診かた STANLEY HOPPENFELD 野島元雄(訳) 医歯薬出版 1984
6. 筋骨格系の触診マニュアル 丸山仁司(監修) ガイアブックス 2011
7. 運動・からだ図解 筋と骨格の触診術の基本 藤縄理 マイナビブックス 2013

授 業 科 目	単 位 数	年 次	学 期	時 間 数	担 当 教 員
(必) 運動生理学	2	2	後期	30	(保健学博士) 宅間 豊 <本校講師> 理学療法士

### 授業概要

運動生理学は「運動によって身体にどのような変化が生ずるのか、その現象と仕組みを研究する学問」と言われている。一方、Physiotherapyの「Physio」は生理学との関係を表す接頭語であり、Physiotherapyは運動等の物理的刺激の適用により生体の生理的反応を期待する治療と言われている。よって、運動生理学は理学療法士にとって基盤となる重要な学問の一つである。そこで、この授業では運動に関係する身体の各器管系とそれらの運動時の反応を中心に学習する。

### 学習目標

身体運動に関与する骨格筋系、神経系、呼吸・循環・代謝系のメカニズムを理解できる。

### 授業計画

回	主 題
1	筋収縮とエネルギー供給系 1
2	筋収縮とエネルギー供給系 2
3	筋線維の種類とその特徴 1
4	筋線維の種類とその特徴 2
5	神経系の役割 1
6	神経系の役割 2
7	神経系の役割 3
8	筋の収縮様式と筋力 1
9	筋の収縮様式と筋力 2
10	中間試験
11	運動と循環 1
12	運動と循環 2
13	運動と呼吸 1
14	運動と呼吸 2
15	定期試験

### 履修の認定

中間および定期試験成績により認定する。

### 教科書

1. 入門運動生理学 勝田茂 (編) 杏林書院
2. 配付プリント

### 参考書

1. 図説・運動の仕組みと応用 中野昭一 (編) 医歯薬出版
2. 図説・運動生化学入門 伊藤郎 (編著) 医歯薬出版

授 業 科 目	単 位 数	年 次	学 期	時 間 数	担 当 教 員
(必) 神経生理学	2	2	前期	30	(教育学修士) 岡部 孝生<本校講師> 理学療法士

### 授業概要

1年次に履修した“人体の構造”と“人体の機能”を基盤に、理学療法と関連性の深い神経生理学の基本的領域を復習する。同時に臨床症状の神経学的理解を深め、理学療法への応用についても言及する。

### 学習目標

1. 理学療法士として、神経生理学を学ぶ必要性を感じる。
2. 神経系の構造と機能の理解を深める。
3. 臨床症状と神経生理学の繋がりを考える。

### 授業計画

回	主 題
1	神経概論、中枢神経概論
2	大脳1
3	大脳2
4	大脳3
5	間脳
6	脳幹
7	小脳、脊髄
8	脳画像のみかた (基礎)
9	末梢神経概論
10	脳神経1
11	脳神経2
12	脳神経3
13	脊髄神経、自律神経
14	まとめ
15	定期試験

### 履修の認定

筆記試験 (90%)、受講態度 (10%)

### 教科書

1. 病気がみえる vol.7 脳・神経 第2版 医療情報科学研究所(編) メディックメディア 2017
2. PT・OT ビジュアルテキスト リハビリテーション基礎評価学 第2版 潮見泰藏・下田信明 羊土社 2019

### 参考書

1. PT・OT ビジュアルテキスト 解剖学 第1版 坂井建雄、町田志樹 羊土社 2018
2. シンプル生理学 改訂第7版 貴邑富久子ほか 南江堂 2016
3. 中枢神経系の理解 第3版 杉浦和朗(著) 医歯薬出版 1998
4. ベッドサイドの神経の診かた 改訂17版 田崎義昭ほか 南江堂 2010
5. ブレインブック 見える脳 養老孟司(監訳) 南江堂 2012
6. カラー人体解剖学 構造と機能 ミクロからマクロまで 井上貴央(監訳) 西村書店 2003

授 業 科 目	単 位 数	年 次	学 期	時 間 数	担 当 教 員
(必) 内科学	2	2	前期	30	高知大学医学部 内科学講座スタッフ 他

## 授業概要

理学療法の対象は、運動器および神経系の障害から呼吸循環器系、代謝系、泌尿器系などの内部障害にまで急速に拡大している。このようなりハビリテーション医療の拡大を鑑みて、内科系疾患の病態、診断、治療を講義しセラピストの必要な知識を教授する。

## 学習目標

1. 基本的な内科疾患を理解できる。
2. 内科の基本的な診断と治療を理解できる。

## 授業計画

回	主 題
1	総 論
2	呼吸器 1
3	呼吸器 2
4	血液 1
5	血液 2
6	腎基礎・一次性・二次性
7	腎不全・水電解質・酸・塩基
8	代謝総論・糖尿病
9	内分泌全般
10	代謝・脂質異常症・その他
11	消化管
12	肝疾患
13	胆 膵
14	免 疫
15	定期試験

## 履修の認定

筆記試験による。

## 教科書

1. ナースの内科学 改訂10版 奈良 信雄 (編) 中外医学社

授業科目	単位数	年次	学期	時間数	担当教員
(必) 整形外科学	2	2	前期	30	(保健学博士) 宅間 豊<本校講師> 理学療法士 他

### 授業概要

整形外科学は、骨・関節・靭帯・腱・筋肉といった運動に関与する器官 (motor organ) の疾患や外傷を扱う医学であり、変形性関節症や骨折がその代表である。

リハビリテーション医療における対象者は、運動器に機能構造障害を有している場合が多く、それが一因となり活動制限や参加制約に陥っている。セラピストがこのような対象者の病状を理解し、障害像を把握した上で理学療法や作業療法を適切に展開するためには整形外科学の知識は不可欠となる。よって、リハビリテーション医療に直接携わる理学療法士と作業療法士に必要な整形外科学を修得するための講義を行う。

### 学習目標

1. 基本的な整形外科疾患を理解できる。
2. 整形外科の基本的な診断法と治療法を理解できる。

### 授業計画

回	主 題
1	関節リウマチ 1
2	関節リウマチ 2
3	変形性関節症 1
4	変形性関節症 2
5	骨粗鬆症
6	中間試験
7	頰椎・腰椎疾患 1
8	頰椎・腰椎疾患 2
9	骨折 1
10	骨折 2
11	関節損傷 1
12	関節損傷 2
13	末梢神経損傷 1
14	末梢神経損傷 2
15	定期試験

### 履修の認定

中間および定期試験成績により認定する。

### 教科書

1. 標準整形外科学 石井清一／平澤泰介 (監) 医学書院

### 参考書

1. リハビリテーション整形外科学 大谷清 (著) 医学書院
2. Visual NAVI! 整形外科学 岡田恭司 (著) メディカルビュー社



授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 精神医学	2	2	前期	30	(医博) 藤田 博一<非常勤講師> 高知大学医学部 附属医学教育創造センター 教授 他

### 授業概要

精神医学は精神障害を取り扱う医学の分野である。精神医学の症状、所見、経過、予後、治療に対する反応性などを統合して、障害の解明と合理的な治療・予防症の発達を目指すものである。

### 学習目標

1. 精神現象の様々な異常を理解し説明できる。
2. 各疾患を理解し説明できる。

### 授業計画

回	主 題
1	第1章 精神医学とは
	第2章 脳科学と精神医学
2	第3章 精神機能とその異常
	第4章 精神発達
	第5章 精神医学的診察と診断
	第6章 精神科治療学
	第7章 コンサルテーション・リエゾン精神医学
3	第8章 精神医療と社会
4	第9章 発達障害（神経発達症群）およびその他の児童期の精神疾患
	第10章 統合失調症
	第11章 うつ病
5	第12章 双極症
6	第13章 不安症・解離症・身体症状症
7	第14章 強迫症
8	第15章 心的外傷及びストレス因関連症
9	第16章 摂食症
	第17章 睡眠-覚醒障害
10	第18章 物質関連症及び嗜癖性症群
11	第19章 認知症
12	第20章 てんかん
13	第21章 パーソナリティ症
	第22章 精神科で対応することのある他の疾患および状態
14	第23章 精神疾患の原因となりうる他の医学的状態および医薬品、化学物質
15	定期試験

### 履修の認定

定期試験、提出物、出席状況、授業態度

### 教科書

1. 標準精神医学／野村総一郎他／ 医学書院 第8版

### 参考書

1. 標準理学療法学・作業療法学 精神医学 医学書院

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 小児科学	2	2	後期	30	(医博) 島崎 洋成<非常勤講師> 田野病院 小児科医師

### 授業概要

小児科学全般について網羅的にまとめて学習する。

### 学習目標

1. 小児科の基本的な疾患を理解する。
2. 小児に特徴的な成長・発達について理解する。

### 授業計画

回	主 題
1	小児の成長・発達
2	感染症
3	先天奇形・染色体異常
4	免疫・アレルギー疾患・膠原病
5	消化器疾患
6	神経疾患 (重症心身障害児 etc) 1
7	” ” 2
8	筋疾患・骨・関節疾患
9	血液疾患
10	新生児・未熟児疾患
11	循環器疾患
12	呼吸器疾患
13	内分泌・先天代謝異常
14	腎・泌尿器疾患
15	定期試験

### 履修の認定

筆記試験による。

### 教科書

1. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野小児科学 編集 富田 豊 医学書院

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 神経内科学	2	2	後期	30	(医博) 大崎 康史<非常勤講師> 高知大学講師 医学部 脳神経内科学講座 他

### 授業概要

神経学は一般に難解な学問という印象がある。しかし、解剖学と生理学を正しく理解すれば、知識の整理は極めて論理的に行うことができる。

本講義では、まず神経系の解剖と生理を学びながら神経疾患の性質診断と部位診断という基本的アプローチを身につける。その後、脳血管障害、変性疾患、感染性疾患などの各論の治療法・予後についての理解を深める。生きた材料を見るために、講義中に DVD などの使用が多いのも、神経内科学の特徴である。

高齢化社会である我が国において、神経内科領域の重要性はますます増えており、社会に出た後にも有用であるように図られている。

### 学習目標

1. 神経系の解剖を理解する。
2. 神経疾患診断に到るプロセスを理解する。
3. 神経学的所見の取り方の基礎、各種検査法を理解する。
4. 神経疾患の主要症状の発生機序、症状内容、症状をきたす疾患について理解する。
5. 脳血管障害、感染症、脱髄疾患など各疾患についての病因病理、症状と経路、検査、診断、治療と予後について理解する。

### 授業計画

回	主 題	回	主 題
1	神経内科学総論	1 1	MS, NMO, ADEM
2	臨床神経解剖学・画像検査	1 2	不整脈
3	神経生理学・検査	1 3	細菌・ウイルス・真菌感染症
4	脳血管障害・総論	1 4	神経筋接合部疾患
5	脳血管障害・各論	1 5	高血圧
6	筋萎縮性側索硬化症	1 6	筋肉疾患
7	小脳変性症・痙性対麻痺	1 7	虚血性心疾患
8	パーキンソン病など	1 8	末梢神経障害
9	認知機能検査と認知症	1 9	弁膜症・心筋症
10	中毒・代謝性疾患	2 0	定期試験

### 履修の認定

筆記試験による。

### 教科書

1. ナースの内科学 改訂 10 版 奈良 信雄 (編) 中外医学社

### 参考書

1. 神経内科ハンドブック 鑑別診断と治療 第 5 版 水野 美邦 編集 医学書院
2. ベッドサイドの神経の診かた 改訂 18 版 田崎 義昭・斉藤 佳雄・坂井 文彦 南山堂
3. Merritt's Neurology 14<sup>th</sup> edition Elan D. Louis, Stephan A. Mayer, James M Noble. Wolters Kluwer

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 臨床心理学	2	2	後期	30	(児童学修士)鹿間 淳史<非常勤講師> 高知ハーモニーホスピタル 臨床心理士

#### 授業概要

臨床心理学は、人間の心理的課題の分析、支援、予防にかかわり、個人がよりよい適応を目指し、より力を発揮できるよう寄り添い、支える事を目的とした実践的学問である。研究を中心活動とする心理学の他の分野と比べ、実践活動の中からまとめられた考えも重視し、実践、研究、専門活動のそれぞれを統合しながら発展しようとしている新しい分野でもある。授業では、心理的課題をいかにアセスメントし、仮説を導き、介入していくかについて、臨床心理学の知見と実践を並走させながら紹介する。

#### 学習目標

1. 主要な心理検査法、心理療法について理解する。
2. 仮説を導くための理論などを理解する。
3. 心理的課題を抱え生きる困難と力を理解する。

#### 授業計画

回	主 題
1	リハビリテーションのための臨床心理学
2	心理アセスメントの方法と倫理
3	心理検査 1
4	心理検査 2
5	精神分析について
6	行動療法・認知行動療法
7	認知行動療法 2
8	人間の実現傾向を重視する（クライエント中心療法）
9	さまざまな心理療法的アプローチ 1（家族療法、森田療法）
10	さまざまな心理療法的アプローチ 2（交流分析、内観療法）
11	発達と心の問題
12	認知機能のアセスメントと支援 1
13	認知機能のアセスメントと支援 2
14	臨床心理学の成り立ちと今後の展望
15	定期試験

#### 履修の認定

出席状況、授業への心理的参加、レポート、定期試験により評価し認定する

#### 教科書

1. リハビリテーションのための臨床心理学 牧瀬 英幹・著 南江堂 2021

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 整形外科学演習	1	2	前期	15	(医博) 奥田 教宏 <本校講師> 理学療法士

### 授業概要

必修科目である整形外科学で学ぶ運動器の疾患や外傷の病態、症状、治療などのポイントを復習することにより整形外科学の基本的知識の修得を補助する。講義内容は、臨床現場に関わることの多い、骨折・変形性関節症・肩関節疾患・関節内障・関節リウマチ・末梢神経損傷・腰椎疾患について講義していく。

### 学習目標

基本的な整形外科学の知識を修得することができる。

### 授業計画

回	主 題
1	骨折
2	変形性関節症（膝・股関節）
3	肩関節周囲炎
4	関節損傷（靭帯・半月板・腱）
5	関節リウマチ
6	末梢神経損傷
7	腰椎疾患
8	単位認定試験

### 履修の認定

筆記試験の成績

### 教科書

1. 標準整形外科学 松野丈夫・中村利孝総編集 医学書院
2. 配布プリント

### 参考書

1. 理学療法学 ゴールド・マスター・テキスト 4 整形外科系理学療法学 柳澤健（編）  
MEDICAL VIEW
2. Visual NAVI 整形外科学 岡田恭司 MEDICAL VIEW
3. 運動器障害理学療法学テキスト 細田多穂・他 南江堂

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 神経内科学演習	1	2	後期	15	(教育学修士) 岡部 孝生<本校講師> 理学療法士

### 授業概要

本講義は同時期に並行して開講されている「神経内科学」を補完する科目である。学生にとって神経内科疾患はイメージし難いことが多い。特に神経内科疾患に伴う「高次脳機能障害」はイメージしにくい上に、臨床で遭遇する頻度は少なくない。そこで本講義では、メディア教材を活用し、代表的な「高次脳機能障害」のイメージを学生に身に付けてもらう事を目的としている。またそれらの教材を通して、医療従事者としての心の成長も期待している。

### 学習目標

1. 高次脳機能障害に対して興味を持ってもらう。
2. 高次脳機能障害のイメージを身につける。
3. 医療従事者としての倫理観を身に付ける。

### 授業計画

回	主 題
1	高次脳機能障害について① ～概論～
2	高次脳機能障害について② ～失認～
3	高次脳機能障害について③ ～失行～
4	高次脳機能障害について④ ～失語～
5	高次脳機能障害について⑤ ～認知症①～
6	高次脳機能障害について⑥ ～認知症②～
7	高次脳機能障害について⑦ ～まとめ～
8	定期試験

### 履修の認定

提出物 (50%)、受講態度 (50%)

### 教科書

1. 病気がみえる vol.7 脳・神経 第2版 医療情報科学研究所(編) メディックメディア 2017

### 参考書

1. ナースの内科学 改訂9版 越川昭三(編) 中外医学社 2013
2. PT・OT ビジュアルテキスト リハビリテーション基礎評価学 第2版 潮見泰蔵・下田信明 羊土社 2019
3. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 神経内科学 第4版 川平和美(編) 医学書院 2013
4. 標準理学療法学 専門分野 神経理学療法学 吉尾雅春, 森岡周 医学書院 2013
5. 高次脳機能障害マエストロシリーズ 1 基礎知識のエッセンス 三村将ほか 医歯薬出版 2006.
6. 目でみる神経内科学 第2版 平井俊策ほか 医歯薬出版 2004
7. リハビリテーションのための神経内科学 第2版 安藤一也ほか 医歯薬出版 2003
8. ベッドサイドの神経の診かた 改訂17版 田崎義昭ほか 南江堂 2010

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 精神医学演習	1	2	前期	15	(教育学修士) 井上 佳和<本校講師> 理学療法士

### 授業概要

理学療法士は主に身体面の障害に対してさまざまなアプローチを講じていく。しかし、精神と身体は一体のものであり、精神面の障害についての理解が深まることは、対象者をトータルに診ることにつながる。この科目では、精神医学領域の国家試験問題をベースとしたドリル形式の問題を理解していくことにより、同時期に開講される必修科目である精神医学の理解をより深めることを目的とする。

### 学習目標

1. 精神科領域の各疾患の理解を深める。
2. 本科目を通じて、精神医学の理解を深める。

### 授業計画

回	主 題
1	意識障害、知能、記憶
2	知覚、思考の異常、妄想
3	神経症性障害
4	身体症状症、PTSD、神経性無食欲症
5	統合失調症、うつ病
6	双極性障害、てんかん、認知症
7	自閉症スペクトラム障害、パーソナリティ障害
8	試験

### 履修の認定

定期試験において履修の認定を行う。

### 教科書

精神医学で用いるテキストを持参すること。  
当日は資料プリントを基に講義をすすめる。

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 栄養と薬剤	1	3	前期	15	大坪 豊寿 <非常勤講師> 田中整形外科病院 管理栄養士 長崎 大武 <非常勤講師> プラス薬局 薬剤師

### 授業概要

生体が発育・成長して生命を維持し、健全な生命活動を営むために体外から取り入れる物質（栄養素）が必要である。栄養学を学習し、対象者及び自己の健康観や食生活の改善に繋げる。医療現場においては多職種が共通の科学的基礎と共通言語が必要であり、疾病別食事療法・低栄養の早期発見・重症化の予防なども含めて理解を深める。講義は資料を利用しながら進めていきます。

リハビリテーションの対象となる患者はさまざまな疾患を持っており、複数の疾患の治療が平行して行われていることが多いと思われます。内科的治療の主となるのは薬剤による治療となります。薬剤には、疾患を治療する効果がある反面、さまざまな副作用も存在します。安全にリハビリテーションを進めるためには薬剤の使用状況とその副作用に関する知識が必要となります。この授業では幅広い疾患に対する薬剤に関する知識を整理することを目指します。

### 学習目標

1. 栄養の基礎となる栄養学及び疾病別の食事療法について理解できる。
2. 臨床におけるリハビリテーション栄養の意義について理解できる。
3. 薬物の基本的事項について理解する。
4. 対象疾患に対する薬物療法について理解する。
5. 薬物の副作用と有害事象について理解する。

### 授業計画

回	主 題
1	リハビリテーションにおける栄養の意義
2	栄養素の種類と役割
3	リハビリテーション栄養・運動時の栄養
4	疾病別食事療法
5	定期試験
6	薬理作用
7	運動器系疾患に対する薬物療法について
8	神経系疾患に対する薬物療法について
9	その他の疾患に対する薬物療法について
10	定期試験

履修の認定 出席状況と受講態度、定期試験

教科書 資料、プリント等の配布

- 参考書
1. PT・OT・STのためのリハビリテーション栄養（医歯薬出版株式会社）
  2. 専門基礎分野 栄養学 人体の構造と機能（医学書院）
  3. 生化学・栄養学（医歯薬出版株式会社）
  4. リハに役立つ治療薬の知識とリスク管理
  5. リハビリテーション薬学
  6. PT・OTのための治療薬ガイドブック リハビリテーション実施時の注意点



授業科目	単位数	年次	学期	時間数	担当教員
(必) 災害と救急救命	1	3	前期	15	日本赤十字社スタッフ<非常勤講師>日本赤十字社高知県支部 武田 陽平<非常勤講師>高知赤十字病院理学療法士 森下 誠也<非常勤講師>田野病院 理学療法士

### 授業概要

本科目では、救急医療と災害医療について学ぶ。

最初に、救急医療について学ぶ。高度化する医療ニーズに対応するためには、救急救命医学の基礎知識が不可欠である。授業では日本赤十字社の基礎講習の受講を通して、緊急を要する病態や外傷に関する知識を深め、一次救命処置の方法を習得する。

授業の中盤からは、災害医療について学ぶ。理学療法士は、DMAT (Disaster Medical Assistance Team) や JRAT (Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team) 等、災害時の医療チームの構成員として、大規模災害発生時には被災地に赴き、活動を展開している。授業では災害時の医療チームに所属する理学療法士から、災害医療の目的や特徴に関する講義、実際の活動紹介などを聞き、災害医療における理学療法士の役割について理解を深める。

### 学習目標

1. 傷病者の観察と一次救命処置を理解し実践できる。
2. 災害医療の目的や特徴を説明できる。
3. 災害医療における理学療法士の役割について説明できる。

### 授業計画

回	主 題
1	赤十字救急法 基礎講習 (日本赤十字社スタッフ)
2	〃
3	〃
4	災害医療の概要・日本赤十字社の災害救護活動について (武田)
5	〃
6	災害時に活動する団体・DMAT と理学療法士の役割について (森下)
7	〃
8	〃

### 履修の認定

赤十字救急法基礎講習の出席と受講状況 40%  
災害医療・災害時の活動に関するレポート 60%

### 注意事項

本講義は、開講回数が全8回と少ないので欠席しないこと。

### 教科書等

赤十字救急法基礎講習テキスト  
講義用資料プリント

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必)作業療法概論	1	3	前期	15	作業療法学科本校講師

### 授業概要

理学療法と歴史的にも内容的にも最も近い職種のひとつである作業療法に関して、作業活動が人間にもたらす意味と治療的効果について学ぶ。同じリハビリテーションチームの職種として、作業療法士が担う役割について理解し、チームアプローチを効果的に行うことができる知識を身に付ける。作業療法の各領域における作業療法を学ぶ。

### 学習目標

1. 作業療法の原理についておおまかに説明できる。
2. リハビリテーションチームの作業療法士の主な役割を列挙できる。
3. 各領域における作業療法アプローチの概略を説明できる。

### 授業計画

回	主 題	
1	作業療法の歴史、作業療法の役割、作業活動の治療効果	(畑田早苗)
2	精神障害領域における作業療法	( " )
3	身体障害領域における作業療法の視点	(片岡聡子)
4	高次脳機能障害における作業療法	(箭野 豊)
5	地域における作業療法	(桂 雅俊)
6	精神疾患における運動療法	(萩原賢二)
7	小児における作業療法	(稲富惇一)
8	定期試験	

### 履修の認定

筆記試験、レポート、出席状況、授業態度

### 参考書

1. 標準作業療法学 作業療法学概論 医学書院
2. ひとと作業・作業活動
3. 配布資料

# 專 門 分 野

授業科目	単位数	年次	学期	時間数	担当教員
(必) 理学療法研究法	1	3	前期	30	(医博) 竹林 秀晃<本校講師> 理学療法士 他

### 授業概要

理学療法の専門性、すなわち理学療法独自の治療法や援助法を開発・発展させるためには研究が不可欠である。よって、本校の卒業生には専門職としての志向性がある程度明確になった段階で、各自の勤務施設での懸命な業務に加え、研究活動にも取り組んでほしいと願っている。

そこで、この科目では将来の研究活動への動機として「理学療法セミナーⅠ（3年次）」と「卒業研究（4年次）」に連動させることを前提に、まず総論的に研究の方法論を概説する。そして、各論では学生が卒業研究時に活用することの多い測定機器の概要を説明し、測定演習を行う。

### 学習目標

1. 研究の方法論を知ることができる。
2. 体系的な測定機器の概要を理解でき、基本操作ができる。
3. 論文の検索や精読し、研究計画に反映できるようにする。

### 授業計画

回	主 題
1	研究法 1 (理学療法士と研究領域)
2	研究法 2 (リサーチクエッションについて)
3	研究法 3 (文献検索・論文の批判的精読)
4	研究法 4 (研究計画書・研究発表の方法と注意点)
5	研究法 5 (臨床研究の実際)
6	研究法 6 (実験基礎研究の実際)
7	測定演習 1 (筋力測定装置)
8	測定演習 2 (超音波画像診断装置)
9	測定演習 3 (呼吸代謝測定装置)
10	測定演習 4 (反応時間計測装置・筋力調節測定装置)
11	測定演習 5 (重心動揺解析装置)
12	測定演習 6 (三次元動作解析装置・床反力計)
13	測定演習 7 (筋電計)
14	測定演習 8 (加速度計)
15	課題および定期試験

### 履修の認定

筆記試験 (90%) ・講義中の課題 (10%)

### 教科書

指定しない。毎回必要な資料を配付する。

### 参考書

1. 標準理学療法学 理学療法研究法 第3版 内山 靖 編 奈良 勲 監修 医学書院 2013
2. 計測法入門 計り方, 計る意味 内山 靖・他編 協同医書 2001
3. はじめての研究法 コ・メディカルの研究法入門 千住秀明・他監修 2004
4. すぐできる! リハビリテーション統計 山本澄子・他監修 南江堂 2012

授業科目	単位数	年次	学期	時間数	担当教員
(必) 臨床実習入門	1	3	後期	30	(保健学博士) 宅間 豊<本校講師> 理学療法士 (教育学修士) 井上佳和<本校講師> 理学療法士 筒井 典子・中村 覚<非常勤講師> 人・みらい研究所

### 授業概要

臨床総合実習を目前にする時期に臨床実習受講のために必要な事柄を教授する。また、臨床実習の意義や対象者から望まれる理学療法士像等について学生自身が深く考える機会を設ける。

### 学習目標

1. 臨床総合実習の意義、教育目標、方法論などを理解できる。
2. 臨床総合実習に向けての学習レディネスを主体的に考えることができる。
3. 臨床総合実習に必要な関連知識を獲得できる。
4. 理学療法士に必要なコミュニケーション力を身に付けることができる。

### 授業計画

回	主 題
1	理学療法士に必要な資質を考える (宅間)
2	クライアントとの信頼獲得を考える (宅間)
3	国際生活機能分類の振り返り (宅間)
4	問題指向型システム (POS) の記録形式 (宅間)
5	医療コミュニケーション① (援助的コミュニケーション) (筒井・中村)
6	医療コミュニケーション② (効果的な聴き方：主訴の確認) (筒井・中村)
7	医療コミュニケーション③ (相手を見る：非言語メッセージの重要性) (筒井・中村)
8	医療コミュニケーション④ (効果的な伝え方) (筒井・中村)
9	医療コミュニケーション⑤ (共感的応答) (筒井・中村)
10	医療コミュニケーション⑥ (問診ロールプレイング) (筒井・中村)
11	臨床総合実習の概要① (井上)
12	臨床総合実習の概要② (井上)
13	理学療法実技① (宅間)
14	理学療法実技② (宅間)
15	理学療法実技③ (宅間)

### 履修の認定

理学療法に関して筆記・口述・実技の試験を行う

### 教科書

1. 臨床総合実習の手引き
2. オリジナル資料の配布

授業科目	単位数	年次	学期	時間数	担当教員
(必) 理学療法セミナーⅠ (卒業研究計画)	1	3	前期	30	理学療法学科本校講師

### 授業概要

理学療法研究の手順を学ぶため理学療法学科教員が担当するいずれかのゼミに所属する。4年次に取り組む卒業研究のための研究計画書を作成するため、研究の過程を実際に経験し研究の方法論を学ぶ。論理的思考や自らの能動的な活動が望まれる。

### 学習目標

1. 研究疑問の設定ができる。
2. 文献レビューができる。
3. 研究計画書の作成ができる。
4. 必要に応じて予備研究ができる。

### 授業計画

回	主 題
1	授業ガイダンス (授業計画、各ゼミの説明、希望ゼミの調査)
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	所属ゼミでの活動 研究計画書作成  研究計画書の発表

### 履修の認定

- 研究計画書の内容とそれに関する発表 50%
- 研究計画の進め方 (次回の指導までの課題への取り組み方) 50%
- 出席状況 10%

### 教科書

1. PT・OTのための臨床研究はじめの一步 山田 実・編著 羊土社 2016
2. 配布プリント

授業科目	単位数	年次	学期	時間数	担当教員
(必) 理学療法セミナーⅡ (国家試験対策)	2	4	後期	60	理学療法学科本校講師

## 授業概要

この科目では国家試験対策を行う。

理学療法学科教員が、過去の試験問題の傾向を分析し、重要と考えられる事柄を事前に学生に提示する。学生はそれを基にして担当領域の資料を作成し、授業でその解説を行う。教員は学生が行う解説について必要に応じて助言を与える他、知識の定着を図る授業を行う。翌週に前週の授業のまとめと学習成果の確認のための小テストを行う。

## 学習目標

1. 過去の国家試験問題の傾向を知ることができる。
2. 国家試験に合格するために不可欠な知識を修得することができる。

## 授業計画

回	主 題
1週目	基礎医学 1
2週目	基礎医学 2
3週目	治療・訓練技術 (物理療法学、義肢・装具学、運動療法基礎学)
4週目	臨床医学と疾患別運動療法 1
5週目	臨床医学と疾患別運動療法 2
6週目	臨床医学と疾患別運動療法 3
7週目	その他 (病理学、臨床心理学、精神医学、研究法)
8週目	単位認定試験

## 履修の認定

単位認定試験 100%

## 教科書・参考書

1. 国試の達人 運動解剖生理学編 アイペック
2. 国試の達人 臨床医学編 アイペック
3. 国試の達人 理学療法編 アイペック
4. クエスチョンバンク 国家試験問題解説 共通問題 メディックメディア
5. クエスチョンバンク 国家試験問題解説 専門問題 メディックメディア
6. 国家試験必勝ポイント理学療法 基礎PT学 医歯薬出版
7. 国家試験必勝ポイント理学療法 障害別PT治療学 医歯薬出版
8. 国家試験必勝ポイント専門基礎分野 基礎医学編 医歯薬出版
9. 国家試験必勝ポイント専門基礎分野 臨床医学編 医歯薬出版
10. 国家試験問題 解答と解説 医歯薬出版

以上の中から国家試験対策の手助けとなる書籍を購入する (開講前に教員が紹介する)。

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 卒業研究	2	4	後期	60	理学療法学科本校講師

### 授業概要

3年次の理学療法セミナーⅠと理学療法研究法に連動している。担当教員の指導下、理学療法セミナーⅠで作成した実験の計画に基づき、データ収集、実施と口述発表と論文作成のプロセスを経験する。

### 学習目標

1. 研究の流れを知ることができる。
2. 研究計画書に基づき研究を実施することができる。
3. 研究の成果を発表することができる。
4. 科学的思考過程や問題解決能力を身につけることができる。

### 授業計画

日 程	主 題
10月中旬	研究論文 提出
10月下旬	口述発表

### 履修の認定

口述発表（卒業研究発表会） 50%

研究論文執筆への取り組み（研究の準備とデータ収集の進め方、論文作成への取り組み） 50%

### 教科書

1. PT・OTのための臨床研究はじめの一步 山田 実・編著 羊土社 2016



授業科目	単位数	年次	学期	時間数	担当教員
(必) 理学療法部門管理論	1	3	後期	15	高芝潤<非常勤講師>近森リハビリテーション病院 理学療法士 細田隆之<非常勤講師>田野病院 理学療法士 近森 幹子<非常勤講師>近森病院 看護師

## 授業概要

医療は病院や施設の医療システムに則り提供されるものであり、理学療法士が行う医療行為もそのシステムに連動して提供される。個々の理学療法士には、臨床に関する知識や技術を自ら高める能力が必要とされているが、同時に知識や技術を患者に提供する際の管理、つまりマネジメント能力も求められる時代へと変化をしている。

本科目では、事故防止対策、医療や介護制度の知識をはじめ、適切で安全な医療提供体制の在り方について学び、組織の中で、社会のニーズにも応えられる、質のよい医療提供者として振る舞える姿勢を養う。

## 学習目標

1. 病院・施設・在宅の中で対象者に対する課題の把握とリスク管理やマネジメントが理解できる。
2. 事故防止対策（リスクマネジメント）、感染予防対策について理解できる。
3. 医療や保健・福祉を取り巻く制度について理解できる。

## 授業計画

回	主 題
1	理学療法管理学・マネジメントの概念1（高芝）
2	理学療法管理学・マネジメントの概念2（高芝）
3	理学療法業務のマネジメント・職場管理・組織運営1（高芝）
4	理学療法業務のマネジメント・職場管理・組織運営2（高芝）
5	診療・介護報酬制度の概要1（田口）
6	診療・介護報酬制度の概要2（田口）
7	院内感染対策1（近森）
8	院内感染対策2（近森）

## 履修の認定

レポート 90%

授業内活動 10%

## 注意事項

本講義は、開講回数が全8回と少ないので欠席しないこと。

## 教科書

講義用冊子、資料プリントを配布する。

## 参考書

1. 理学療法管理学 奈良勲・他（編） 医歯薬出版 2018
2. 理学療法管理学 15 レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 長野聖・他（編） 2020
3. リハベリック 安全管理学・救急医療学 内山靖・他（編） 医歯薬出版 2021

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 理学療法教育論	1	3	後期	15	(医博) 宮本 謙三 (本校講師) 理学療法士 (医博) 奥田 教宏 (本校講師) 理学療法士 (医科学修士) 近藤 寛 (本校講師) 理学療法士

### 授業概要

理学療法士には、専門職として、自己研鑽を含めた生涯学習を継続して行う責務があり、卒前教育や卒後教育について理解する。理学療法士国家資格を取得するにあたり、本校では卒前教育を4年間にわたりみなさんに教授し、理学療法士免許を取得した後は、卒後教育がはじまりどのようなキャリアラダーで進んで行くか説明する。また、臨床現場で必要となってくる患者教育や組織運営に関するマネジメント能力を養うために、理学療法倫理や理学療法教育について講義し理解を深めていく。

より質の高い理学療法が提供できるよう、理学療法教育に必要な知識を培うとともに、職業倫理を高められるような講義を展開していく。

### 学習目標

1. 教育の本質と役割について理解することができる
2. 卒後教育を理解しキャリアラダーのイメージを持てるようになる
3. 患者教育のマネジメント能力や職業倫理を高めることができる

### 授業計画

回	主 題
1	理学療法教育の歴史
2	教育技法と教育評価
3	卒前・卒後教育
4	卒後キャリアラダー
5	患者教育とは
6	患者教育の考え方、コミュニケーションスキルの重要性
7	セルフモニタリングの作成
8	単位認定試験

### 履修の認定

出席状況と試験結果とを総合的に判定する。

### 教科書

1. 講義の際に適宜資料を配布する。

### 参考書

1. 講義の際に適宜資料を配布する。

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 理学療法評価学Ⅱ (ROM・感覚)	1	2	前期	30	(医科学修士) 近藤 寛<本校講師> 理学療法士 ○実務経験者による授業科目

### 授業概要

理学療法評価学Ⅱでは、理学療法評価の一部である関節可動域や感覚の評価について学習する。本講義は、感覚検査や関節可動域検査、姿勢アライメント、整形外科疾患検査など、それぞれに必要な概論と基本手技、記録方法などを学習する。

### 学習目標

1. 検査・測定に必要なランドマークや注意点を理解できる。
2. 関節可動域検査や感覚検査などの目的・適応を理解し、基本的手技ができる。
3. 姿勢アライメントの正常と異常を知り、理学療法との関連性について理解する。

### 授業計画

回	主 題
1	姿勢・アライメント①
2	姿勢・アライメント②
3	姿勢・アライメント③
4	関節可動域検査 総論
5	関節可動域検査 上肢
6	関節可動域検査 下肢・その他
7	関節可動域検査 実技1
8	関節可動域検査 実技2
9	整形外科疾患検査 (筋短縮テスト)
10	整形外科疾患検査 (筋短縮テスト) 実技
11	感覚検査1
12	感覚検査2
13	感覚検査3 実技
14	講義まとめ
15	筆記・実技試験

### 履修の認定

筆記試験・実技試験

### 注意事項

実技の授業もあるため、実技ができる服装や器具を用意しておくこと。

### 教科書

1. リハビリテーション基礎評価学 第2版 潮見泰藏・他編 羊土社 2019

### 参考書

1. 標準理学療法学 理学療法評価学 第3版 奈良 勲監修 医学書院 2019
2. 理学療法評価学 第6版 松澤 正・江口勝彦 著 金原出版 2018
3. 理学療法ハンドブック 第1巻 理学療法の基礎と評価 第4版 細田多徳編 協同医書 2010

授業科目	単位数	年次	学期	時間数	担当教員
(必) 理学療法評価学Ⅲ (筋力)	1	2	前期	30	(学術修士) 宮本 祥子<本校講師> 理学療法士 ○実務経験者による授業科目

### 授業概要

理学療法評価学Ⅲでは筋力検査を学習する。人体の円滑な身体運動や姿勢保持は、神経系の命令により筋が収縮した結果、関節が動いたり、固定されたりすることにより成り立っている。筋力低下は種々の原因で発生するが、筋力を量的に測定する方法として徒手筋力検査法(MMT)は理学療法士にとって大変重要な検査法である。本講義では、健常者をモデルにして MMT を正確に実施できることを目標とする。

### 学習目標

1. 筋力検査の目的が理解できる。
2. 健常者をモデルにMMTを正確に行うことができる。
3. 筋力低下による代償運動が理解できる。

### 授業計画

回	主 題
1	筋力検査の目的と種類、徒手筋力検査法の原理
2	徒手筋力検査法：下肢(1)
3	徒手筋力検査法：下肢(2)
4	徒手筋力検査法：下肢(3)
5	徒手筋力検査法：下肢(4)
6	徒手筋力検査法：下肢(5)
7	徒手筋力検査法：上肢(1)
8	徒手筋力検査法：上肢(2)
9	徒手筋力検査法：上肢(3)
10	徒手筋力検査法：上肢(4)
11	徒手筋力検査法：上肢(5)
12	徒手筋力検査法：体幹
13	代償運動、まとめ
14	ロコモティブシンドロームとサルコペニア
15	試験

### 履修の認定

筆記試験 80%、実技試験 15%、授業内活動(課題の提出など)5%

### 注意事項

出席状況および学習態度を評定に加味する。

実習が中心であるので、毎時間実習が可能な服装で受講すること。

### 教科書

1. 新・徒手筋力検査法 第10版 Dale Avers, Marybeth Brown (著) 津山直一 他(訳) 協同医書出版社 2020

### 参考書

1. ロコモティブシンドローム診療ガイド 2021 日本整形外科学会, 日本運動器科学会 (監修) 2021

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 理学療法評価学Ⅳ (神経・画像評価)	1	2	前期	30	(教育学修士) 岡部 孝生<本校講師> 理学療法士 ○実務経験者による授業科目

### 授業概要

理学療法を実施する上で、まず行うことは患者の評価になります。理学療法の評価については1年次に理学療法評価学Ⅰを履修しました。本講義はそれに続くものであり、具体的には腱反射検査、筋緊張検査、協調性検査、バランス検査、さらに画像評価などを取り扱います。また、各評価の方法だけでなく、各評価の意味を理解するために必要な解剖学的・生理学的知識の復習も行います。

### 学習目標

1. 評価の種類を挙げられるようにする。
2. 評価の意味を理解する。
3. 各種評価を自ら行えるようにする。

### 授業計画

回	主 題
1	反射検査①
2	反射検査②
3	筋緊張検査①
4	筋緊張検査②
5	実技①
6	協調性検査①
7	協調性検査②
8	実技②
9	バランス検査①
10	バランス検査②
11	実技③
12	画像検査①
13	画像検査②
14	まとめ
15	定期試験

### 履修の認定

定期試験 (90%)、受講態度 (10%)

### 教科書

1. PT・OT ビジュアルテキスト リハビリテーション基礎評価学 第2版 潮見泰藏・下田信明 羊土社 2019
2. PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定 編 第2版 才藤栄一 金原出版 2019

### 参考書

1. 標準理学療法学 理学療法評価学 第4版 奈良勲(監) 医学書院 2023
2. 理学療法評価学 改訂第6版 松沢正, 江口勝彦 金原出版 2022
3. ベッドサイドの神経の診かた 改訂18版 田崎義昭ほか 南山堂 2016
4. 病気がみえる vol.7 脳・神経 第2版 医療情報科学研究所 メディックメディア 2017
5. 運動療法に役立つ 単純X線像の読み方 改訂第2版 青木 隆明(監) メジカルビュー社 2022

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 理学療法評価実習	1	2	後期	30	(医博) 奥田 教宏 <本校講師> 理学療法士 (心身健康科学修士) 渡邊 家泰 <本校講師>理学療法士 (医科学修士) 近藤 寛<本校講師> 理学療法士 ○実務経験者による授業科目

## 授業概要

本科目は、これまでに履修してきた理学療法評価がより実践的なものとなるよう模擬症例を通して講義を行っていく。講義の目的は、評価内容の復習と評価の実技指導を行なうことで、臨床評価実習までに最低限必要な評価内容を修得できるようにすることである。臨床評価実習では、対象者を目の前にして学生個人が一人で行わなければなりません。一人一人が自立して評価を行なうことができるよう、自覚を持って取り組んで下さい。

## 学習目標

1. 基本的評価技術の再確認と技術の習得
2. 基礎知識の再確認

## 授業計画

回	主 題
1	臨床実習とは
2	臨床現場からみる評価実習に必要なこと
3	症例検討1 大腿骨頸部骨折
4	バイタル、ROM-T 実技
5	症例検討2 脊椎圧迫骨折
6	MMT、感覚検査、疼痛評価実技
7	症例検討3 変形性股関節症
8	メジャーメント、ADL 介助
9	症例検討4 変形性膝関節症
10	歩行、バランス検査実技
11	症例検討5 脳卒中
12	Brunnstrom stage (12Grade)、反射実技
13	統合と解釈の書き方
14	臨床実習の心構え
15	筆記試験・実技試験

## 履修の認定

筆記試験の成績

## 教科書

1. リハビリテーション基礎評価学 潮見泰藏・他 羊土社
2. 新・徒手筋力検査法 津山直一・中村耕三 協同医書出版社
3. PT・OT のための臨床技能と OSCE コミュニケーションと介助・検査測定編 才藤 栄一・他 金原出版株式会社
4. PT・OT のための臨床技能と OSCE 機能障害・能力低下への介入編 才藤 栄一・他 金原出版株式会社

## 持参物

ケーシー、メジャー、打鍵器、ゴニオメーター、筆など評価に必要なもの

授業科目	単位数	年次	学期	時間数	担当教員
(必) 理学療法評価法演習	1	2	後期	30	(医博) 宮本 謙三<本校講師> 理学療法士 ○実務経験者による授業科目

## 授業概要

理学療法評価法の関連科目において学習した内容をもとに、実践に応用するための思考過程を身につける科目である。暗記する科目ではなく、なぜそのような評価を行うのか、その結果はどう解釈すればよいのか、といった考え方をトレーニングする。後半は理学療法プログラムの立案に向けた演習と実際の運動指導方法を討議する。

## 学習目標

1. 理学療法の過程を説明できる。
2. 障害像に応じて適切な事前情報を収集できる。
3. 障害像と事前情報に基づき適切な評価項目を抽出できる。
4. 測定した評価結果を正しく解釈し問題点を抽出できる。
5. 適切な理学療法プログラムを立案できる。

## 授業計画

回	主 題
1	理学療法評価過程
2	情報の種類と選択および記録
3	問診の目的と方略および記録
4	理学療法評価項目の選択
5	筋力評価法の選択と応用
6	感覚評価法の選択と応用
7	神経学的評価の選択と応用
8	評価結果の統合と解釈
9	理学療法プログラムの立案過程
10	筋力トレーニングの立案
11	可動域トレーニングの立案
12	中枢性運動麻痺の回復トレーニングの立案
13	バランストレーニングの立案
14	デモンストレーション
15	定期試験

## 履修の認定

定期試験、出席状況、受講態度、レポート等を総合して認定する。

## 教科書

1. 臨床実習とケーススタディ 鶴見隆正（編） 医学書院

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 運動分析学	1	2	後期	30	(心身健康科学修士) 渡邊家泰 <本校講師> 理学療法士 ○実務経験者による授業科目

### 授業概要

運動とは、姿勢（体位と構え）が時間的に連続して変化したものであり、動作とは運動によって具体的に行われるものである。理学療法の主目的は、対象者における動作の問題解決にあるが、そのためにはヒトの運動を正確にとらえ分析できる能力が理学療法士には求められる。

本講義では、理学療法場面で広く行われている姿勢・動作分析の技術向上のため、動作を構成する運動を的確にとらえ記述できることを目的とする。

### 学習目標

1. 臨床における運動分析の目的を理解する。
2. 運動を観察し分析することができる。
3. 運動学的用語を用いて運動を記述できる。
4. 基本動作を構成する運動をとらえ説明できる。
5. 正常から逸脱した運動を観察し、原因の仮説を立て、立証できる評価項目を立案できる。

### 授業計画

回	主 題
1	運動分析学総論
2	運動分析の方法
3	運動分析演習（push up 動作）
4	寝返り動作の運動分析
5	起き上がり動作の運動分析
6	起立・着座動作の運動分析
7	歩行分析の方法（1）
8	歩行分析の方法（2）
9	臨床実践を目的とした運動分析（1）
10	臨床実践を目的とした運動分析（2）
11	整形外科疾患症例の運動分析（1）
12	整形外科疾患症例の運動分析（2）
13	脳卒中片麻痺症例の運動分析（1）
14	脳卒中片麻痺症例の運動分析（2）
15	単位認定試験

### 履修の認定

筆記試験 80%、受講態度 10%、レポート 10%を総合して認定する。

### 教科書

石井慎一郎：動作分析臨床活用講座：メジカルビュー社、2013  
随時、資料を配付する。

### 参考書

1. 畠中泰彦（編）：PT・OT ビジュアルテキスト 姿勢・動作・歩行分析(第1版), 羊土社：2015
2. 月城慶一：観察による歩行分析(第1版), 医学書院：2012
3. 武田 功：ペリー歩行分析 正常歩行と異常歩行（第2版）, 医歯薬出版社：2017



授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 運動療法学Ⅰ (総論)	1	2	前期	30	(医博) 竹林 秀晃<本校講師> 理学療法士

### 授業概要

運動療法は、理学療法の中で主要な治療技術である。運動療法とは「運動障害・予防を運動そのものを用いて維持・改善すること」である。本講義では、運動療法の歴史・位置付け・目的・方法・適応について学習し、各種運動療法技術の理論を中心に学習を進める。

### 学習目標

1. 運動療法の特徴ならびに障害に対する運動療法の適応を理解する。
2. 正常な機能と病態生理を結びつけ、理学療法との関連性について理解する。
3. 基本的運動の種類・特徴・適応・注意点を理解する。
4. 各種運動療法の意義・理論を理解する。

### 授業計画

回	主 題
1	運動療法概論
2	各種機能・形態障害に対する運動療法の基礎Ⅰ
3	基本運動
4	関節の機能と障害
5	関節可動域運動の理論
6	関節可動域運動の実習
7	筋の機能と障害
8	筋力維持増強運動の理論
9	筋力維持増強運動の実習
10	持久力運動の理論
11	神経系の機能と障害
12	協調性運動の理論
13	バランス運動と運動療法
14	脳科学・運動制御・運動学習と運動療法
15	筆記試験

### 履修の認定

筆記試験 (90%) ・講義中の課題 (10%)

### 注意事項

実習が多いため、運動が可能な服装を用意しておくこと。

### 教科書

1. 運動療法学 障害別アプローチの理論と実際 第2版 市橋則明 編 文光堂 2014

### 参考書

1. 標準理学療法学 運動療法・総論 第5版 吉尾雅春監修 医学書院 2023
2. 理学療法士のための運動療法 岩倉博光監修 金原出版 1995
3. 運動療法学テキスト 細田多穂監修 南江堂 2010
4. 理学療法ハンドブック 第2巻 治療アプローチ 細田多穂・柳澤健編 協同医書 2010

授業科目	単位数	年次	学期	時間数	担当教員
(必) 運動療法学Ⅱ (障害別各論)	1	2	後期	30	(医博) 竹林 秀晃<本校講師> 理学療法士

### 授業概要

運動療法は、理学療法の中で主要な治療技術である。運動療法総論にて各種運動療法の理論を学習するが、本講義は、各種運動療法の理論を踏まえたうえで基本的な技術の習得を目的に実習を中心に講義を展開する。

### 学習目標

1. 各種運動療法の理論と基本的な手技を理解する。
2. 各種運動療法の意義・目的・適応・禁忌を理解する。
3. 各種運動療法技術に必要な基礎的知識を理解する。

### 授業計画

回	主 題
1	運動療法の基礎知識
2	関節可動域制限に対する運動療法
3	筋力低下に対する運動療法
4	持久力低下に対する運動療法
5	感覚障害に対する運動療法
6	協調性運動障害に対する運動療法
7	姿勢・バランス障害に対する運動療法
8	歩行障害に対する運動療法
9	中枢神経性運動麻痺に対する運動療法
10	高次脳機能障害に対する運動療法
11	痛みに対する運動療法
12	加齢による機能障害に対する運動療法
13	中枢性運動麻痺に対する運動療法
14	まとめ
15	筆記・実技試験

### 履修の認定

筆記試験 (90%) ・ 講義中の課題 (10%)

### 注意事項

実習が多いため、運動が可能な服装を用意しておくこと。

### 教科書

1. 運動療法学 障害別アプローチの理論と実際 第2版 市橋則明 編 文光堂 2014

### 参考書

1. 標準理学療法学 運動療法・総論 第5版 吉尾雅春 監修 医学書院 2023
2. 理学療法士のための運動療法 岩倉博光 監修 金原出版 1995
3. 運動療法学テキスト 細田多穂 監修 南江堂 2010
4. 理学療法ハンドブック 第2巻 治療アプローチ 細田多穂・柳澤健 編 協同医書 2010

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 物理療法学 I (温熱・光線療法)	1	3	前期	30	(教育学修士) 岡部 孝生<本校講師> 理学療法士 ○実務経験者による授業科目

### 授業概要

物理療法とは電気、温・寒熱、水、光線、力などの物理的エネルギーを生体に応用することによって、その機能の活性化と恒常性の維持・改善などを図る手法であり理学療法場面でも用いられる。物理療法学 I は、これらのうち温・寒冷、光線などを応用した物理療法を理解していく。

### 学習目標

1. 物理療法の概念を理解する。
2. 各手法の作用機序を理解する。
3. 理学療法における物理療法の位置付けを考える。

### 授業計画

回	主 題
1	物理療法総論
2	温熱療法総論
3	ホットパック療法、パラフィン療法
4	赤外線療法、極超短波療法
5	赤外線療法、極超短波療法
6	超短波、超音波療法
7	超短波、超音波療法
8	寒冷療法総論
9	一般寒冷療法
10	一般寒冷療法、極低温療法
11	光線療法総論
12	紫外線療法、レーザー光線療法
13	治療実習 1
14	治療実習 2
15	定期試験

### 履修の認定

定期試験 (90%)、受講態度 (10%)

### 教科書

1. PT・OT ビジュアルテキスト エビデンスから身につける物理療法 第 2 版 庄本康治 羊土社 2023

### 参考書

1. 物理療法学テキスト 改訂第 3 版 (シンプル理学療法学シリーズ) 細田多穂 南江堂 2021
2. 物理療法学 改訂第 3 版 松沢正, 江口勝彦 (監修) 金原出版 2021
3. 標準理学療法学 専門分野 物理療法学 第 5 版 奈良勲 (監修) 医学書院 2020
4. 最新物理療法の臨床適応 庄本康治 (編) 文光堂 2012
5. ビジュアルレクチャー理学療法基礎治療学 (2) 物理療法 中山孝, 菅原仁 (編) 医歯薬出版 2012
6. 理学療法ハンドブック 改訂第 4 版 第 2 巻 治療アプローチ 細田多穂ほか 協同医書出版 2010
7. EBM 物理療法 原著第 3 版 渡部一郎 (訳) 医歯薬出版 2010
8. 理学療法士のための物理療法臨床判断ガイドブック 木村貞治 (編) 文光堂 2007
9. 理学療法学ゴールド・マスター・テキスト (3) 物理療法学 柳澤健 メジカルビュー社 2009
10. 物理療法マニュアル 嶋田智明ほか 医歯薬出版 1996

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 物理療法学Ⅱ (電気療法)	1	3	後期	30	(教育学修士) 岡部 孝生<本校講師> 理学療法士 ○実務経験者による授業科目

### 授業概要

物理療法とは電気、温・寒熱、水、光線、力などの物理的エネルギーを生体に応用することによって、その機能の活性化と恒常性の維持・改善などを図る手法であり理学療法場面でも用いられる。物理療法学Ⅱは物理療法学Ⅰに続くもので、これらのうち電気、水、力を応用した物理療法を理解していく。

### 学習目標

1. 物理療法の概念を理解する。
2. 各手法の作用機序を理解する。
3. 理学療法における物理療法の位置付けを考える。

### 授業計画

回	主 題
1	牽引療法総論
2	牽引療法（頸椎牽引、腰椎牽引）
3	治療実習
4	水治療法総論、全身浴
5	水治療法（部分浴、交代浴）
6	治療実習
7	電気刺激療法総論 1
8	電気刺激療法総論 2
9	電気刺激療法（低周波）
10	電気療法（低周波、中周波）
11	治療実習 1
12	治療実習 2
13	物理療法学Ⅰ復習
14	物理療法学Ⅱ復習
15	定期試験

### 履修の認定

定期試験（90%）、受講態度（10%）

### 教科書

1. PT・OT ビジュアルテキスト エビデンスから身につける物理療法 庄本康治 羊土社 2017

### 参考書

1. 物理療法学テキスト 改訂第3版（シンプル理学療法学シリーズ） 細田多穂 南江堂 2021
2. 物理療法学 改訂第3版 松沢正, 江口勝彦（監修） 金原出版 2021
3. 標準理学療法学 専門分野 物理療法学 第5版 奈良勲（監修） 医学書院 2020
4. 最新物理療法の臨床適応 庄本康治（編） 文光堂 2012
5. ビジュアルレクチャー理学療法基礎治療学(2) 物理療法 中山孝, 菅原仁（編） 医歯薬出版 2012
6. 理学療法ハンドブック 改訂第4版 第2巻 治療アプローチ 細田多穂ほか 協同医書出版 2010
7. BBM 物理療法 原著第3版 渡部一郎（訳） 医歯薬出版 2010
8. 理学療法士のための物理療法臨床判断ガイドブック 木村貞治（編） 文光堂 2007
9. 理学療法学ゴールド・マスター・テキスト(3) 物理療法学 柳澤健 メジカルビュー社 2009
10. 物理療法マニュアル 嶋田智明ほか 医歯薬出版 1996

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 装具療法学Ⅰ (下肢)	1	2	前期	30	(心身健康科学修士) 渡邊 家泰 <本校講師> 理学療法士 ○実務経験者による授業科目

### 授業概要

装具療法は、理学療法の重要な治療手段の一つである。運動療法との併用によって、より高い治療効果を期待することができる。一方で、装具には傷病に応じた様々な種類が存在し、それを的確に選択し、治療に用いていくことが理学療法士には求められる。装具療法学Ⅰでは、総論として理学療法における装具療法の位置付け等を確認するとともに、各論として下肢装具を中心に取り上げる。なお、本科目は治療用装具として、更生用装具として活用できることを目指す。解剖・運動学の知識と、臨床医学の基本的内容を必要とするので、受講に向けて復習に努めること。

### 学習目標

1. 下肢装具の構造を理解する。
2. 下肢装具の適合判定ができる。
3. 下肢装具の種類を知り、傷病に応じた装具の適応を説明できる。
4. 基本的な装具療法の考え方や実施方法について説明できる。

### 授業計画

回	主 題
1	総論 装具・装具療法とは
2	総論 装具の製作工程、装具の分類
3	各論 下肢装具総論
4	各論 金属支柱付短下肢装具 1
5	各論 金属支柱付短下肢装具 2
6	各論 プラスチック短下肢装具
7	各論 その他の短下肢装具 2
8	各論 長下肢装具 1
9	各論 長下肢装具 2
10	各論 膝装具
11	各論 股装具、免荷装具
12	各論 骨盤帯長下肢装具、対麻痺用装具
13	各論 ロボットリハビリテーション
14	各論 事例検討
15	単位認定試験

### 履修の認定

定期試験 90%・受講態度とその他を 10%として成績を統合して判定する。

### 教科書

高田治実：PT・OT ビジュアルテキスト 義肢・装具学 異常とその対応がわかる動画付き  
第2版，羊土社

### 参考書

1. 渡邊英夫，他：脳卒中の下肢装具 第3版，医学書院
2. 加倉井周一，他（編）：新編 装具治療マニュアル，医歯薬出版

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 装具療法学Ⅱ (上肢・体幹)	1	2	後期	30	(心身健康科学修士) 渡邊 家泰 <本校講師> 理学療法士 ○実務経験者による授業科目

### 授業概要

各論として医療用装具、体幹装具、靴型装具、上肢装具を取り上げる。なお、本科目は解剖・運動学の知識と、臨床医学の基本的内容を必要とするため、受講に向けて復習に努めること。臨床評価実習で求められる「自身で調べる力」、「意見を発信する力」、「コミュニケーション力」を身につけるために、グループ発表、質疑応答の時間を積極的に設ける。

### 学習目標

1. 医療用・体幹・靴型・上肢装具の構造を理解する。
2. 医療用・体幹・靴型・上肢装具の適合判定ができる。
3. 装具の種類を知り、傷病に応じた装具の適応を説明できる。
4. 能動的に学び、かつ自分の意見を述べられるようになる。

### 授業計画

回	主 題
1	各論 医療用装具1 (先天性股関節脱臼)
2	各論 医療用装具2 (ペルテス病、その他)
3	各論 靴型装具1
4	各論 靴型装具2
5	各論 体幹装具1 (基本構造)
6	各論 体幹装具2 (頸椎装具)
7	各論 体幹装具3 (腰仙椎装具)
8	各論 側弯症装具1
9	各論 側弯症装具2
10	各論 上肢装具1 (総論)
11	各論 上肢装具2 (指装具)
12	各論 上肢装具3 (手関節装具)
13	各論 上肢装具4 (対立・把持装具)
14	各論 上肢装具5 (肘・肩装具)
15	単位認定試験

### 履修の認定

定期試験 60%・グループ発表 40%を統合した成績を判定する。

### 教科書

高田治実：PT・OT ビジュアルテキスト 義肢・装具学 異常とその対応がわかる動画付き  
第2版，羊土社

### 参考書

1. 渡邊英夫，他：脳卒中の下肢装具 第3版，医学書院
2. 加倉井周一，他：新編 装具治療マニュアル，医歯薬出版

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 義肢学	1	3	前期	30	(医博) 鶴見 隆正<非常勤講師> 湘南医療大学教授 理学療法士

### 授業概要

四肢切断のリハビリテーションに必要な知識と技術を学習する。切断原因、切断手技を理解し、急性期からの理学療法、義肢装着訓練について学び、義手、義足の種類、ソケットの特徴、ソケットの適応判定、さらに切断端の評価から断端訓練、アライメント調整、歩行訓練、応用動作訓練等については実習を取り入れながら学習する。

また、義肢処方から義肢完成までの過程、義肢給付制度について理解し、切断者の社会復帰までにおける理学療法士の役割と位置づけについて教授する。

### 学習目標

1. 切断者のリハビリテーションにおける理学療法の位置づけを理解できる。
2. 義肢の種類、適応判定、アライメント調整ができる。
3. 切断の評価、断端訓練、歩行訓練等の基本的な理学療法を実施できる。

### 授業計画

回	主 題
1	切断のオリエンテーション
2	切断と義肢の歴史・実態
3	切断原因
4	切断術と断端管理
5	大腿義足ソケット
6	大腿義足のアライメント
7	大腿義足の異常歩行
8	膝継手・足継手
9	大腿義足の演習
10	下腿切断と下腿義足
11	膝関節離断・サイム切断と股離断
12	両側下肢切断
13	下肢切断者の理学療法評価
14	演習：下肢切断者の理学療法過程
15	筆記試験と実技試験

履修の認定 試験結果、出席状況、受講態度を総合的に評価

注意事項 義肢に触れながら主体的に講義に取り組むこと。

教科書 1. 切断と義肢 医葉薬出版  
2. 標準理学療法学 臨床実習とケーススタディ 医学書院

参考書 1. 義肢装具 理学療法MOOK 三輪書店

授業科目	単位数	年次	学期	時間数	担当教員
(必) 義肢装具学演習	1	3	後期	15	小谷 和男<非常勤講師> 義肢装具士・福祉用具専門相談員 (株)小谷義肢

### 授業概要

- 1) 義肢、装具に関する基本的知識を学ぶとともに、種類と構造、チェックアウト、最新の義肢装具および試装着によりアライメントを理解する。
- 2) ギプス採型

### 学習目標

1. 装具（上肢、下肢、体幹、靴型）、義足の名称と構造、適応について説明できる。
2. 体験模擬装具、義足、義手によりアライメントの理論と実際を習得する。
3. 体験模擬装具、義足、義手により装着除去訓練を習得する。
4. ギプス包帯による陰性モデル採型を修得する。

### 授業計画

回	主 題
1	装具学概論 最近のトピックス
2	” 下肢のアライメント、試歩行
3	” 短下肢装具の陰性モデル採型
4	” 短下肢装具の陰性モデル採型
5	義肢学概論 最近のトピックス
6	” 下肢のアライメント、試歩行
7	” 大腿義足のソケットリング採型
8	” 大腿義足のソケットリング採型

### 履修の認定

実技テスト 50%、レポート 30%、出席状況 10%、授業態度 10%

### 教科書

配布テキスト

### 参考書

・義肢学      ・装具学      ・切断と義肢      ・義肢装具のチェックポイント



授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 日常生活活動学Ⅰ (総論)	1	2	前期	30	(教育学修士) 井上 佳和<本校講師> 理学療法士 ○実務経験者による授業科目

### 授業概要

障害を持つ人が尊厳を持ち自立した生活をおくることはリハビリテーションの目標であるが、そのためには、当然のことながら個々の対象者に適した日常生活活動の評価や指導が必要となる。そこで、この科目では理学療法士が基本動作をどのように評価し、またどのように指導していけばよいのかについて力学的な観点も踏まえ、実習も組み入れながら展開していく。

### 学習目標

1. 日常生活活動の評価のポイントや代表的評価法の特徴を理解する。
2. 健常人の基本動作パターンを理解する。
3. 脳血管障害などに起因する片麻痺に対する起居移動動作練習の実際を理解し、指導できる。

### 授業計画

回	主 題
1	ADLの概念と範囲
2	ADLとQOL
3	ADL評価のポイント
4	できるADLとしているADL
5	ADL評価の実際
6	手段的ADL、QOL評価について
7	基本動作について
8	動作観察の基礎
9	車いす1
10	車いす2
11	車いすの採型
12	片麻痺者のADL1
13	片麻痺者のADL2
14	片麻痺者のADL3
15	定期試験

### 履修の認定

定期試験により履修の認定を行う。

### 教科書

1. PT・OT ビジュアルテキスト ADL 第2版 柴 喜崇 編 羊土社
2. PT・OT のための臨床技能と OSCE 才藤 栄一 監修 金原出版社

授業科目	単位数	年次	学期	時間	担当教員
(必) 日常生活活動学Ⅱ (障害別各論)	1	2	後期	30	(教育学修士) 井上 佳和<本校講師> 理学療法士 ○実務経験者による授業科目

### 授業概要

障害を持つ人が尊厳を持ち自立した生活をおくることはリハビリテーションの目標であるが、そのためには、当然のことながら個々の対象者に適した日常生活活動の評価や指導が必要となる。この科目では、対麻痺・四肢麻痺者、慢性関節リウマチ者、人工股関節術後のADLの特性とその指導方法、生活環境の評価とその改善計画について知識を深めていく。

### 学習目標

1. 杖、松葉杖などの補装具について、種類と適応を理解し、適切な調節ができる。
2. 生活環境の評価方法とその改善計画についての概要を理解できる。
3. 対麻痺者、四肢麻痺者、RA、THR術後者に対する起居移動動作練習の実際を理解し、指導できる。

### 授業計画

回	主 題
1	一側下肢骨折者に対する歩行指導
2	杖・松葉杖の適応と歩行パターン
3	パーキンソン病者に対するADL指導1
4	関節リウマチ者のADL指導1
5	自助具の活用について
6	人工股関節術後者のADL1
7	人工股関節術後者のADL2
8	生活環境の評価1
9	生活環境の評価2
10	生活環境の改善計画の実際1
11	生活環境の改善計画の実際2
12	四肢麻痺者のADL1
13	四肢麻痺者のADL2
14	対麻痺者に対するADL指導
15	定期試験

### 履修の認定

定期試験により履修の認定を行う

### 教科書

1. PT・OT ビジュアルテクニク ADL 第2版 柴 喜崇 編 羊土社
2. PT・OTのための臨床技能とOSCE 才藤 栄一 監修 金原出版社

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 神経障害理学療法学 I (脳卒中)	1	2	前期	30	(心身健康科学修士) 渡邊 家泰 <本校講師> 理学療法士 ○実務経験者による授業科目

### 授業概要

本講義では、神経疾患の中でも理学療法の対象となることの多い脳血管障害について、講義する。講義内容は、脳血管障害の病態、障害像、治療方法、理学療法評価法、脳卒中に対する理学療法を説明していく。また、実際の臨床で活かすことができるよう理学療法の実技もできる限り行っていく。

### 学習目標

1. 脳血管障害の病態分類を説明できる。
2. 脳血管障害の障害像を把握できる。
3. 脳血管障害の理学療法評価の項目を抽出し、実践できる。
4. 脳血管障害の理学療法を説明できる。

### 授業計画

回	主 題
1	神経疾患概論
2	脳血管障害の病態分類
3	脳卒中の障害像①
4	脳卒中の障害像②
5	脳卒中の障害像③
6	脳卒中に対する（内科的・外科的）治療法
7	脳卒中の理学療法評価①
8	脳卒中の理学療法評価②
9	脳卒中の理学療法評価③
10	高次脳機能障害
11	脳画像
12	治療①
13	治療②
14	治療③
15	単位認定試験

### 履修の認定

授業の授業態度 10%、筆記試験 90%の成績を統合して判定する。

### 教科書

森岡周・阿部浩明：標準理学療法学 神経理学療法学 第3版，医学書院

### 参考書

1. 神経難病領域のリハビリテーション実践アプローチ 小林哲夫 MEDICAL VIEW
2. 病気がみえる vol.7 脳・神経 MEDICAL MEDIA
3. コツさえわかればあなたも読める リハに役立つ脳画像 大村優慈 MEDICAL VIEW
4. ベッドサイドの神経の診かた 改訂17版 田崎義昭・他 南山堂
5. イラストによる中枢神経系の理解 第3版 杉浦和朗 医歯薬出版株式会社

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 神経障害理学療法学Ⅱ (神経筋疾患)	1	2	後期	30	(心身健康科学修士) 渡邊 家泰 <本校講師> 理学療法士 ○実務経験者による授業科目

### 授業概要

神経障害理学療法学Ⅰでは、神経疾患の中で理学療法の対象となる頻度が多い脳血管障害について、その疾患の病態から理学療法について学習した。本講義はそれに続く科目で、理学療法士が対象とすることが多い神経疾患のうち、脳卒中以外の疾患を対象に、それらの疾患に対する病態から理学療法について学ぶことを目的としている。

### 学習目標

1. 神経疾患のイメージをつける。
2. 損傷部位によりその症状や理学療法アプローチが異なることを学ぶ。
3. パーキンソン症候群に対する理学療法を理解する。
4. 運動失調に対する理学療法を理解する。
5. その他、神経難病に対する理学療法を理解する。

### 授業計画

回	主 題
1	パーキンソン症候群の病態と症状
2	パーキンソン症候群の理学療法評価
3	パーキンソン病の理学療法
4	運動失調症の病態と症状
5	運動失調症と理学療法評価
6	運動失調症の理学療法
7	筋萎縮性側索硬化症の病態と症状
8	筋萎縮性側索硬化症の理学療法
9	多発性硬化症の病態・症状と理学療法
10	ギラン・バレー症候群の病態・症状と理学療法
11	重症筋無力症の病態・症状と理学療法
12	多発性筋炎・皮膚筋炎の病態・症状と理学療法
13	理学療法実技
14	まとめ
15	単位認定試験

### 履修の認定

授業態度 10%、筆記試験 90%の成績を統合して判定する。

### 教科書

森岡周・阿部浩明：標準理学療法学 神経理学療法学 第3版 医学書院

### 参考書

1. 神経難病領域のリハビリテーション実践アプローチ 小林哲夫 MEDICAL VIEW
2. 病気がみえる vol.7 脳・神経 MEDICAL MEDIA
3. コツさえわかればあなたも読める リハに役立つ脳画像 大村優慈 MEDICAL VIEW
4. ベッドサイドの神経の診かた 改訂17版 田崎義昭・他 南山堂
5. イラストによる中枢神経系の理解 第3版 杉浦和朗 医歯薬出版株式会社

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 神経障害理学療法学Ⅲ (脊髄損傷)	1	3	前期	30	(学術修士) 宮本 祥子<本校講師> 理学療法士 ○実務経験者による授業科目

### 授業概要

中枢性運動麻痺をきたす代表的な傷病である脊髄損傷の病態、評価、理学療法を理解することを目的とする。本科目では、外傷性脊髄損傷による完全横断損傷を中心に授業を展開する。

なお、授業の進行速度は学生の理解度に応じて調整するため、補講を行うことがある。

### 学習目標

1. 脊髄の解剖を理解する。
2. 脊髄損傷の障害発生機構、症状を述べることができる。
3. 脊髄損傷の合併症の病態と医学的管理を理解し、理学療法場面での管理法を述べることができる。
4. 脊髄損傷の理学療法評価、治療訓練を考えることができる。

### 授業計画

回	主 題
1	脊椎、脊髄の解剖
2	脊髄損傷の原因・診断と予後判定
3	脊髄不全損傷の特殊型、完全損傷の症状の概説
4	運動機能障害(1)
5	運動機能障害(2)
6	感覚機能障害
7	1～7回のまとめ(試験)
8	自律神経障害
9	正常の排尿機構
10	脊髄損傷の排尿機構、排尿管理(1)
11	脊髄損傷の排尿機構、排尿管理(2)
12	急性期から回復初期の理学療法
13	回復中期から後期における理学療法
14	理学療法評価、合併症(褥瘡、異所性骨化など)
15	試験

### 履修の認定

筆記試験(中間・期末)筆記試験90%、授業内活動(課題の提出など)10%

### 教科書

1. PT マニュアル 脊髄損傷の理学療法 第3版 武田功編集 医歯薬出版 2017

### 参考書

1. 脊髄損傷リハビリテーションマニュアル 第3版 神奈川リハビリテーション病院脊髄損傷リハビリテーションマニュアル編集委員会 医学書院 2019
2. 脊髄損傷理学療法マニュアル 第3版 岩崎洋編集 文光堂 2020
3. 頸髄損傷のリハビリテーション 改訂第3版 二瓶隆一・木村哲彦 他 協同医書 2016

授業科目	単位数	年次	学期	時間数	担当教員
(必) 発達障害理学療法学	1	3	後期	30	(学術修士) 宮本 祥子<本校講師> 理学療法士 ○実務経験者による授業科目

### 授業概要

最初に乳児の正常運動発達から、成熟した個体の行動様式の獲得のされ方を理解する。その後正常運動発達を基盤とし、脳性麻痺の運動障害・理学療法を学ぶ。そして授業終盤には、理学療法で治療対象となることが多い、脳性麻痺以外の小児疾患についても学ぶこととする。

また、授業全般にわたって小児理学療法の特異性と療育の理念を理解する。

### 学習目標

1. 正常乳児の運動発達の流れを述べることができる。
2. 脳性麻痺の類型別に問題点と治療原則を述べるができる。
3. 脳性麻痺を中心とした肢体不自由児のリハビリテーションの流れを述べるができる。

### 授業計画

回	主 題
1	小児の成長
2	乳児の運動発達 0～3ヶ月
3	乳児の運動発達 3～6ヶ月
4	乳児の運動発達 6～9ヶ月
5	乳児の運動発達 9～12ヶ月
6	幼児の発達
7	反射・反応検査
8	脳性麻痺の定義、症状、病型分類
9	痙直型の子供の問題点と治療
10	アトローゼ型の子供の問題点と治療
11	脳性麻痺の子供の日常生活での指導のしかた
12	脳性麻痺の手術療法と補装具療法、合併障害、理学療法評価
13	小児神経筋疾患の理学療法
14	二分脊椎症、ダウン症候群の理学療法、発達障害とDCD
15	試験

### 履修の認定

筆記試験 90%、出席状況と授業内活動(課題の提出など)10%

### 教科書

1. シンプル理学療法シリーズ 小児理学療法学テキスト 改訂第3版 細田多穂監修 南江堂 2018
2. 乳児の発達—写真でみる0歳児 高橋孝文監訳 医歯薬出版 1997

### 参考書

1. 脳性まひ児の家庭療育 第4版 Eva Bower 医歯薬出版 2014
2. 正常発達 脳性まひ治療への応用 Jung Sun Hong 三輪書店 2010
3. 発達性協調運動障害[DCD]: 不器用さのある子どもの理解と支援 辻井正次・他監修 金子書房 2019

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 運動器障害理学療法学Ⅰ (下肢)	1	2	前期	30	(医博) 奥田 教宏 <本校講師> 理学療法士 ○実務経験者による授業科目

### 授業概要

運動器障害理学療法学は2年次から3年次にかけて履修するが、ここでは理学療法の対象として多い骨折、変形性関節症について取りあげていく。また、これらの疾患に対する病態や整形外科的な検査方法や治療方法を解説するとともに理学療法評価やプログラムについて、実技も行いながら理解を深めていく。

### 学習目標

1. 運動器障害理学療法に必要な整形外科疾患の概要を理解する。
2. 整形外科疾患の病態と整形外科治療の内容を把握する。
3. 整形外科疾患に対する理学療法評価とプログラム・実技について理解する。

### 授業計画

回	主 題
1	骨の構造と働き・骨折の整形外科
2	骨折の整形外科治療
3	骨折の障害像
4	骨折の理学療法評価
5	骨折の理学療法治療
6	高齢者による骨折の理学療法(大腿骨頭部骨折中心)
7	骨折の理学療法実技
8	変形性関節症の整形外科学
9	変形性股関節症の障害構造と理学療法評価
10	変形性股関節症の理学療法治療
11	変形性膝関節症の障害構造と理学療法評価
12	変形性膝関節症の理学療法治療
13	変形性関節症の理学療法実技
14	まとめ
15	単位認定試験

### 履修の認定

筆記試験の成績

### 教科書

1. 整形外科リハビリテーション 神野哲也監修 羊土社
2. 運動療法に役立つ 単純X線像の読み方 青木隆明監修 MEDICAL VIEW

### 参考書

1. ここがポイント！整形外科疾患の理学療法 富士武史監修
2. 結果の出せる整形外科理学療法 運動連鎖から全身をみる 山口光圀・他著 MEDICAL VIEW
3. 術後理学療法プログラム 島田洋一・他編 MEDICAL VIEW
4. 運動器障害理学療法学テキスト 細田多穂・他 南江堂

授業科目	単位数	年次	学期	時間数	担当教員
(必) 運動器障害理学療法学Ⅱ (上肢)	1	2	後期	30	(医博) 奥田 教宏 <本校講師> 理学療法士 ○実務経験者による授業科目

### 授業概要

運動器障害理学療法学Ⅰに引き続き、理学療法の対象となる代表的な整形外科疾患に対する理学療法を学習する。講義は、教科書・講義プリントを中心に進めていく。

ここでは、肩関節疾患（肩関節周囲炎・腱板断裂）、末梢神経損傷を取り上げ、これらの疾患に対する基礎的学習や理学療法評価、理学療法プログラムについて実技も含めて理解を深めていく。

### 学習目標

1. 運動器障害理学療法に必要な整形外科疾患の概要を理解する。
2. 整形外科疾患の病態と整形外科治療の内容を把握する。
3. 整形外科疾患に対する理学療法評価とプログラム立案・実技を理解する。

### 授業計画

回	主 題
1	肩関節の基礎
2	肩関節周囲炎の整形外科学
3	肩関節周囲炎の理学療法評価・治療
4	腱板断裂の理学療法評価・治療
5	腱板断裂の理学療法評価・治療②
6	肩関節周囲炎・腱板断裂の理学療法実技
7	肩関節疾患のケーススタディ
8	末梢神経の構造と機能
9	末梢神経損傷の整形外科学
10	末梢神経損傷の障害構造
11	末梢神経損傷の理学療法評価
12	末梢神経損傷の理学療法治療
13	末梢神経損傷の理学療法実技
14	まとめ
15	単位認定試験

### 履修の認定

筆記試験の成績

### 教科書

1. 整形外科リハビリテーション 神野哲也監修 羊土社
2. 運動療法に役立つ 単純X線像の読み方 青木隆明監修 MEDICAL VIEW

### 参考書

1. ここがポイント！整形外科疾患の理学療法 富士武史監修
2. 結果の出せる整形外科理学療法 運動連鎖から全身をみる 山口光圀・他著 MEDICAL VIEW
3. 術後理学療法プログラム 島田洋一・他編 MEDICAL VIEW
4. 運動器障害理学療法学テキスト 細田多穂・他 南江堂



授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 運動器障害理学療法Ⅲ (体幹)	1	3	前期	30	(医博) 奥田 教宏 <本校講師> 理学療法士 ○実務経験者による授業科目

### 授業概要

運動器障害理学療法Ⅱに引き続き、理学療法の対象となる代表的な整形外科疾患に対する理学療法を学習する。講義は、教科書・講義プリントを中心にできるだけ動画を利用しながら進めていく。

ここでは、腰痛症（腰椎椎間板ヘルニアなど）、頸椎疾患（頸椎捻挫など）、関節リウマチを取り上げ、これらの疾患に対する理学療法評価やプログラムを実技も含めて理解を深める。

### 学習目標

1. 運動器障害理学療法に必要な整形外科疾患の概要を理解する。
2. 整形外科疾患の病態と整形外科治療の内容を把握する。
3. 整形外科疾患に対する理学療法評価とプログラム立案・実技を理解する。

### 授業計画

回	主 題
1	腰痛症の病態
2	腰痛症の原因となる主な疾患
3	腰痛症の理学療法評価
4	腰痛症の理学療法治療
5	腰痛症に対する実技
6	頸椎疾患（頸椎捻挫）の病態・整形外科
7	頸椎疾患（頸肩腕症候群）の病態・整形外科
8	頸椎疾患（胸郭出口症候群）の病態・整形外科
9	頸椎疾患の理学療法評価
10	頸椎疾患の理学療法治療
11	頸椎疾患に対する実技
12	関節リウマチの病態・診断・治療
13	関節リウマチの理学療法評価
14	関節リウマチの理学療法治療
15	単位認定試験

### 履修の認定

筆記試験の成績

### 教科書

1. 整形外科リハビリテーション 神野哲也監修 羊土社
2. 運動療法に役立つ 単純 X 線像の読み方 青木隆明監修 MEDICAL VIEW

### 参考書

1. ここがポイント！整形外科疾患の理学療法 富士武史監修
2. 結果の出せる整形外科理学療法 運動連鎖から全身をみる 山口光圀・他著 MEDICAL VIEW
3. 術後理学療法プログラム 島田洋一・他編 MEDICAL VIEW
4. 標準理学療法学 骨関節理学療法学 吉尾雅治・他 医学書院

授業科目	単位数	年次	学期	時間数	担当教員
(必) スポーツ理学療法学	1	3	後期	30	(医博) 森本 哲郎<非常勤講師> もりもと整形外科内科 山田 義久<非常勤講師> もりもと整形外科内科 理学療法士 (医博) 竹林 秀晃<本校講師> 理学療法士

### 授業概要

整形外科や運動器障害理学療法を背景に、スポーツ理学療法の対象となる代表的な整形外科疾患に対する理学療法を学習する。講義は、教科書・講義プリントを中心に動画・スライド・実技等を利用して進めていく。

スポーツ傷害の理学療法に対する理学療法評価やプログラムだけでなく、パフォーマンス向上のためのバイオメカニクスや運動制御・運動学習理論なども含めて理解を深める。

### 学習目標

1. スポーツ理学療法に必要な整形外科疾患の概要を理解する。
2. スポーツ傷害の病態と整形外科治療の内容を把握する。
3. スポーツ傷害に対する理学療法評価とプログラム立案・実技を理解する。
4. スポーツパフォーマンス向上のための理論を理解する。

### 授業計画

回	主 題
1	スポーツ整形外科・理学療法の総論
2	スポーツ理学療法の実際
3	スポーツ傷害に対するアプローチ (テーピングなど)
4	スポーツ傷害に対するアプローチ
5	スポーツ傷害Ⅰ (膝靭帯損傷)
6	スポーツ傷害Ⅱ (半月板損傷)
7	スポーツ傷害Ⅲ (足関節捻挫・アキレス腱断裂)
8	スポーツ傷害Ⅳ (上肢の傷害 その他の傷害)
9	スポーツ傷害の理学療法に関する実技
10	スポーツ傷害のケースステディ
11	スポーツパフォーマンス向上の運動理論
12	スポーツバイオメカニクス
13	スポーツ栄養学
14	まとめ
15	筆記試験

### 履修の認定

筆記試験 (90%) ・講義中の課題 (10%)

### 教科書

1. 整形外科リハビリテーション 神谷哲也監修 2012
2. 運動療法に役立つ 単純 X 線像の読み方 青木明監修 MEDICAL VIEW 2011
3. 標準整形外科学 第 11 版 広畑和志監修 医学書院 2008

### 参考書

1. 標準理学療法学 骨関節理学療法学 吉尾雅治・他 医学書院 2012
2. 結果の出せる整形外科理学療法 運動連鎖から全身をみる 山口光圀・他著 MEDICAL VIEW 2009

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 内部障害理学療法学 I (呼吸)	1	3	前期	30	(保健学博士) 宅間 豊<本校講師> 理学療法士 ○実務経験による授業科目

### 授業概要

呼吸系・循環系・筋代謝系の調和システムを基盤に慢性呼吸器疾患の障害構造を解説する。そして、その上で適用する評価法と理学療法を理解し、指向性をもった検査測定や治療および援助が行えるように専門的知識と技術を修得する。

### 学習目標

1. 病態の理解に必要な医学的基礎知識を獲得できる。
2. 障害構造を理解できるとともに評価の意義と方法を説明できる。
3. 呼吸器疾患に対する理学療法の目的と方法を説明できる。

### 授業計画

回	主 題
1	呼吸器系の構造と機能 1
2	呼吸器系の構造と機能 2
3	呼吸器系の構造と機能 3
4	中間試験
5	慢性呼吸器疾患の障害構造
6	呼吸理学療法のための評価 1
7	呼吸理学療法のための評価 2
8	呼吸理学療法のための評価 3
9	呼吸理学療法のための評価 4
10	呼吸理学療法 (基本手技 1)
11	呼吸理学療法 (基本手技 2)
12	呼吸理学療法 (基本手技 3)
13	呼吸理学療法 (基本手技 4)
14	呼吸理学療法 (基本手技 5)
15	定期試験

### 履修の認定

中間および定期試験成績により認定する。

### 教科書

1. 動画で分かる呼吸リハビリテーション 高橋仁美・他 (編) 中山書店
2. 配付プリント

### 参考書

1. リハ実践テクニック呼吸ケア 塩谷隆信・高橋仁美 (編) メジカルビュー社
2. 理学療法テキスト内部障害理学療法学 呼吸 石川朗・玉木彰 (編) 中山書店

授業科目	単位数	年次	学期	時間数	担当教員
(必) 内部障害理学療法学Ⅱ (循環)	1	3	前期	30	(医博)大重 匡(非常勤講師) 鹿児島大学医学部 教授 理学療法士・臨床工学技士 前田 秀博先生 近森病院 理学療法士 (医科学修士)近藤 寛<本校講師> 理学療法士

### 授業概要

高齢化が進んでいる現在、理学療法の対象者も高齢者が増加している。高齢者の多くは不整脈を合併し、また既往歴に心筋梗塞や狭心症、末梢循環障害などを有する場合がある。理学療法士が運動療法を施行する際、運動療法施行時に出現する不整脈や症状を判読することはリスク管理の上で非常に重要である。本講義は、心電図の基本から正常12誘導心電図の波形の成り立ち、そして臨床場面で理解しておくべき不整脈の波形について教授したのち、急性期と回復期の心筋梗塞の理学療法について教授する。また、臨床における心疾患患者の対する最新のリハビリテーションの内容や末梢循環障害の基礎や評価・治療について説明する。

### 学習目標

1. 基本的な内科疾患の病態を理解できる。
2. 内部障害に対する評価・理学療法について理解できる。

### 授業計画

回	主 題
1	心臓の解剖と生理
2	刺激伝導系について
3	正常心電図(心電図の波形と名称)
4	正常心電図(肢誘導と胸部誘導)
5	不整脈の心電図(頻脈・徐脈・期外収縮)
6	不整脈の心電図(房室ブロック・心室内伝導障害・心房細動など)
7	心筋梗塞の理学療法(心筋梗塞の病態)
8	心筋梗塞の理学療法(理学療法の実際)
9	運動負荷試験について
10	心筋梗塞の理学療法(回復期の理学療法)
11	心不全のリハビリテーション(臨床の前線)①
12	心不全のリハビリテーション(臨床の前線)②
13	末梢循環障害の基礎
14	末梢循環障害の評価・治療
15	定期試験

### 履修の認定

出席状況と試験結果とを総合的に判定する。

### 教科書

1. 内部障害理学療法学テキスト 細田 多穂 監修 南江堂

### 参考書

1. 講義の際に適宜資料を配布する。

授 業 科 目	単 位 数	年 次	学 期	時 間 数	担 当 教 員
(必) 内部障害理学療法学Ⅲ (代謝・腎・がん)	1	3	後期	30	(医科学修士) 近藤 寛<本校講師> 理学療法士 ○実務経験者による授業科目

### 授業概要

内部障害とは、心臓、呼吸、腎尿路、消化など内部機能障害の総称と定義されている。そのうち、内部障害理学療法学Ⅲでは、代謝、腎臓、糖尿病、がんに関する概論や理学療法について講義する。これらの疾患についての評価・治療の選択に当たっては、病態理解が必要不可欠となり、その部分も含めて内容を展開する。

### 学習目標

1. 基本的な内科疾患の病態を理解できる。
2. 内部障害に対する評価・理学療法について理解できる。

### 授業計画

回	主 題
1	糖尿病とは・糖尿病の診断と分類
2	糖尿病の検査と合併症
3	糖尿病の治療
4	糖尿病に対する理学療法（評価）
5	糖尿病に対する理学療法（治療）
6	運動と代謝①
7	運動と代謝②
8	腎機能障害の理解（腎臓の機能や役割・診断・分類）
9	腎機能障害の理解（疾患）
10	腎機能障害の理学療法（評価・治療）
11	がんとは・がんの診断と分類
12	がんのリハビリテーション（疾患）
13	がんのリハビリテーション（評価・治療）
14	まとめ
15	定期試験

### 履修の認定

出席状況と試験結果とを総合的に判定する。

### 教科書

1. 内部障害理学療法学テキスト 細田 多穂 監修 南江堂

### 参考書

1. 講義の際に適宜資料を配布する。

授業科目	単位数	年次	学期	時間数	担当教員
(必) 医療機器概論	1	1	後期	15	細田 里南<非常勤講師> 田中 健太郎<非常勤講師> (教育学修士) 岡部 孝生<本校講師> 理学療法士

### 授業概要

医療機器とは、病気や怪我を診断したり、治療や予防したりするときに使われる機器の総称です。医療行為を行う場合、必ずと言っていいほど使用されるものです。病気や怪我の種類や状態によって使用する医療機器は異なります。そのため医療機器には、かなり多くの種類が存在します。本講義では、まずその種類の多さについて学んでいただきます。その上で、理学療法士がかかわる事が多い代表的な医療機器について、その種類と基本的な仕組み、目的について学んでいただきます。さらに、理学療法士として各種医療機器の知識や使用方法を学ぶ必要性について学んでいただきます。

### 授業概要

医療機器とは、病気や怪我を診断したり、治療や予防したりするときに使われる機器の総称です。医療行為を行う場合には、ほぼ必ず使用されます。病気や怪我の種類や状態により使用される医療機器が異なるため、医療機器には非常に多くの種類が存在します。本講義では、まずその種類について学んでいただきます。その上で、理学療法士がかかわる事が多い代表的な医療機器について、その種類と基本的な仕組み、目的について学んでいただきます。さらに、理学療法士として各種医療機器の知識や使用方法を学ぶ必要性について学んでいただきます。

### 学習目標

1. 医療機器の種類が理解できる。
2. 各々の機器の基本的な仕組みや目的が理解できる。
3. 理学療法士として医療機器を学ぶ必要性が理解できる。

### 授業計画

回	主 題
1	医療機器概論
2	新生児集中治療に関与する医療機器について
3	呼吸器疾患に関与する医療機器について①
4	呼吸器疾患に関与する医療機器について②
5	循環器疾患に関与する医療機器について①
6	循環器疾患に関与する医療機器について②
7	運動器疾患に関与する医療機器について①
8	運動器疾患に関与する医療機器について②

### 履修の認定

提出物 (70%)、受講態度 (30%)

### 教科書

配布資料

### 参考書

適宜紹介します。

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 理学療法技術論 (熱傷・褥瘡含む)	1	3	前期	30	宮本 省三<非常勤講師> 高知医療学院 理学療法士 近藤 寛<本校講師>理学療法士 他 ○実務経験者による授業科目

### 授業概要

この科目では外部より招聘した講師と本校の講師が、運動療法を中心とする理学療法の理論や技術の教授、また理学療法関連領域の知識・技術についての教授をおこなう。

### 学習目標

授業計画に示すテーマに関しての理論と技術を修得することができる。

### 授業計画

回	主 題
1	最近の運動療法の動向(1)～(2) 宮本省三
2	〃
3	最近の運動療法の動向(3)～(4) 園田義顕
4	〃
5	関節可動障害の評価と理学療法アプローチ 大畑剛
6	〃
7	〃
8	〃
9	ノーリフトケア・ノーリフティングケアの理論と実際 加賀野井博美
10	〃
11	PNFの理論と実際 上田康裕
12	〃
13	熱傷の評価と理学療法アプローチ 近藤 寛
14	〃
15	まとめ

### 履修の認定

課題レポート2題 100%

### 注意事項

同一日に数回分の授業をまとめて開講するので欠席には注意すること。  
各テーマにより、準備するものが異なるため掲示に従うこと。

### 教科書

配布資料

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 理学療法特論 I (臨床思考)	1	3	前期	15	(医博) 川村 博文<本校講師> 理学療法士

### 授業概要

理学療法特論 I (臨床思考) では、日本および世界の理学療法 (士) の変遷を教授し、理論と実際の検証を行うことで、理学療法の理論と基本手技の概略を解説する。特に ICF での問題点の捉え方の骨組みである活動と心身機能・身体構造および参加の意義と重要性について理解を深める。

さらに、評価の意義、評価の統合と解釈の意味、抽出された問題点の価値、予後推定に基づく目標 (短期・長期) の明確な設定、問題点对応型の理学療法などの留意点は、各種疾患を通して教授し、臨床推論能力を高め、臨床現場で活躍できる力の構築に繋げていくこととする。

### 学習目標

1. 理学療法の変遷 (課題と展望) を学び、各理学療法の理論と実際を検証し、理解できる。
2. 各疾患での ICF に基づく評価、評価の統合と解釈、問題の抽出、目標、治療を設定できる。

### 授業計画

回	主 題
1	オリエンテーション、日本および世界の理学療法変遷と理学療法の検証
2	理学療法の検証
3	理学療法を実践する上での ICF の理解
4	各疾患の評価・評価の統合と解釈・問題の抽出・目標・治療設定
5	疼痛と疼痛に対する理学療法の実際
6	関節可動域制限 (拘縮・強直) に対する理学療法の実際
7	筋力弱化に対する理学療法の実際
8	定期試験

### 履修の認定

出席状況と試験結果とを総合的に判定する。

### 教科書

1. 臨床実習とケーススタディ、鶴見隆正・辻下守弘編集、医学書院

### 参考書

1. 理学療法のルーツ その継承と新たな創造のために、武富由雄著、メディカルプレス
2. 講義の際に適宜資料を配布する。



授業科目	単位数	年次	学期	時間数	担当教員
(必) 理学療法特論Ⅱ (症例検討)	1	3	後期	15	(医博) 奥田 教宏 <本校講師> 理学療法士

### 授業概要

本科目では、これまで1年次～3年次までの講義で学習してきた内容に対し模擬症例を通して、より実践的なに必要なスキル向上を目的とした講義を行う。模擬症例を提示し個人およびグループワークで問題点を考え、さらに治療プログラムを検討し議論していきたい。対象者の入院状況や生活場所、ニーズ、社会背景や利用可能な社会資源の把握など、対象者を一生活者としてとらえる視点を学び、ディスカッションを通してよりよい方策を導き出せるよう講義を行う。

### 学習目標

1. 模擬症例を通して、問題点・治療を立案できるようになる。
2. 入院時リハと在宅時リハの考え方の違いについて整理する。

### 授業計画

回	主 題
1	症例検討 (大腿骨頸部骨折症例 ～評価項目の検討～)
2	症例検討 (大腿骨頸部骨折症例 ～問題点と治療目標の検討～)
3	症例検討 (大腿骨頸部骨折症例 ～プログラムの検討～)
4	症例検討 (脳卒中症例① ～評価項目の検討～)
5	症例検討 (脳卒中症例① ～問題点と治療目標の検討～)
6	症例検討 (脳卒中症例① ～プログラムの検討～)
7	症例検討 (脳卒中症例②在宅 ～評価項目・問題点の検討～)
8	症例検討 (脳卒中症例②在宅 ～治療目標とプログラム～)

### 履修の認定

課題提出内容により成績をつける。

### 教科書

配布プリント

### 参考書

1. ケースで学ぶ理学療法臨床思考 基本編 有馬慶美・他 文光堂
2. 臨床実習とケーススタディ 鶴見隆正・他 医学書院
3. PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編 才藤栄一・他 金原出版
4. PT・OTのための臨床技能とOSCE 機能障害・能力低下への介入編 才藤栄一・他 金原出版

授 業 科 目	単 位 数	年 次	学 期	時 間 数	担 当 教 員
(必) 理学療法特論Ⅲ (理学療法トピックス)	1	4	後期	30	理学療法学科本校講師 他

### 授業概要

臨床総合実習で培った専門的能力を基に、種々の分野における理学療法の実際や関連する医療・保健・福祉についての学術的見聞を広め、理学療法を様々な視点から考える。学外より講師を招いて開講する。

### 学習目標

将来の理学療法士として必要な事柄について見聞を広めることができるとともに、専門職としての立脚点を考察することができる。

### 履修の認定

課題レポート2題 100%

### 教科書

配布資料

授業科目	単位数	年次	学期	時間数	担当教員
(必) 地域リハビリテーション学	1	3	前期	30	医学(博士) 滝本幸治<非常勤講師> 奈良学園大学講師 理学療法士 (教育学修士)井上佳和<本校講師> 理学療法士 ○実務経験者による授業科目

### 授業概要

昨今、理学療法士の職域は拡大し、医療分野のみならず保健・福祉領域における貢献が求められている。加えて、理学療法士の活躍の場は医療施設に留まらず、高齢者施設や在宅で生活する高齢者や身体に障害を有している者、肢体不自由児など対象や貢献の場は拡がりをみせている。そのため、理学療法士として地域リハビリテーションの概年とその活動について理解することは大変重要である。

本講義では、前半に本邦の高齢社会における現状・課題等を把握するとともに、地域リハビリテーションに関する制度・役割・手法等について理解することを目的に講義を展開する。また後半では、在宅での生活支援時に欠かすことのできない生活環境の調整についての基本的知識について理解することを目標に講義を展開する。

### 学習目標

1. 地域リハビリテーションの定義を理解する。
2. 地域および対象者のアセスメント手法について理解する。
3. 地域リハビリテーションに関する諸制度を理解する。
4. 地域リハビリテーション活動の手法と展開を知る。
5. 生活環境調整の基本的知識について理解する。

### 授業計画

回	主 題
1	地域リハビリテーション概論 (定義と現状)
2	疾病モデルと地域リハビリテーションの位置づけ
3	老化と廃用
4	地域および対象者のアセスメント①
5	地域および対象者のアセスメント②
6	高齢者に対する予防的介入手法
7	地域リハビリテーション活動支援事業
8	地域リハビリテーション活動の課題と展望
9	高齢者・障害者と福祉住環境整備
10	本邦の福祉住環境について・関係諸制度
11	福祉住環境整備の基本技術
12	高齢者・障害者の身体機能特性
13	生活行為別福祉住環境整備の方法
14	福祉住環境整備の実践
15	福祉用具
16	定期試験

### 履修の認定

筆記試験、レポート課題、出席状況

### 教科書

1. 東京商工会議所(編)：福祉住環境コーディネーター検定試験 2級公式テキスト 改訂 6版, 東京商工会議所:2022年  
講義用冊子、資料を配布する。

### 参考書

1. 重森健太・横井賀津志(編)：地域リハビリテーション学第2版, 羊土社:2019年
2. 細田多穂(監)：地域リハビリテーション学テキスト改訂第3版, 南江堂:2018年
3. 河野 眞(編)：地域包括リハビリテーション実践マニュアル, 羊土社:2018年

授業科目	単位数	年次	学期	時間数	担当教員
(必) 地域リハビリテーション演習	1	3	前期	15	(医科学修士) 近藤 寛<本校講師> 理学療法士

### 授業概要

同時期の開講科目である地域リハビリテーション学で学習する内容を基に、地域における保健・医療・福祉サービスの理解を深める。そこで、地域の施設などに出向いて地域課題や対策についてインタビューを行い、実際に理学療法士のどのような専門的知識・技術が活用できるのかを考え、実践できるようにする。演習では、見学やサービス活動への参加を通して参加者と交流を深め、どのようなニーズの下でサービスが展開されているのかを知ること、どのような課題があるのかをとらえることが重要である。

### 学習目標

1. 身近にある地域リハビリテーション活動を知る。
2. 参加者と適切に交流することができる。
3. インタビューや演習を通して地域リハビリテーション活動の実際を知る。
4. 高齢者のリスク管理、評価方法を知り実践できる。
5. 地域リハビリテーション活動における理学療法士の役割と課題を知る。

### 授業計画

回	主 題
1	地域におけるリハビリテーションのニーズと課題
2	高齢者の包括的能力評価方法
3	地域リハに関わるテーマごとの発表資料作成
4	地域リハに関わる各テーマについて発表 ①
5	地域リハに関わる各テーマについて発表 ②
6	地域老人会交流会にむけて ①
7	地域老人会交流会にむけて ②
8	地域老人会交流会 ①
9	地域老人会交流会 ②
10	地域老人会交流会 ③
11	まとめ

\* 地域老人会交流会は3グループに分かれて、各グループで1回体験する

### 履修の認定

出席状況、演習実施状況、レポート提出、課題発表

### 留意事項

本講義は、視聴覚教材を用いた討議を行うとともに、近隣事業所等にて学外演習を行う。挨拶や服装など接遇に関して特に留意すること。

### 教科書

必要に応じて資料を配布する。

### 参考書

1. 重森健太 (編) : 地域リハビリテーション学 第2版, 羊土社: 2019
2. 大田仁史 (編) : 地域リハビリテーション原論 Ver. 7, 医歯薬出版: 2020
3. 牧迫飛雄馬, 吉松竜貴 (編) : 地域理学療法学 (最新理学療法学講座), 医歯薬出版: 2021

授業科目	単位数	年次	学期	時間数	担当教員
(必) 地域理学療法学	1	3	後期	30	吉良健司<本校非常勤講師> 訪問看護ドリームチーム 理学療法士 他

### 授業概要

地域リハビリテーション活動において理学療法士が担う職責や期待は大きいですが、期待に応えるためには実践能力が求められる。地域理学療法学では、地域リハビリテーション活動において理学療法士が実際にどのように活動を展開するのかについて、活動場面別に解説する。

また、2025年の地域包括ケアシステムの構築に向けた理学療法士の貢献が期待されていることから、今後のトレンドを読みながら講義を展開する。同時に、地域課題を把握しそれに応えるために必要な知識や視点が得られるよう講義を進める。

### 学習目標

1. 地域理学療法について理解を深め、説明することができる。
2. 地域理学療法の展開場面・実施方法を知る。
3. 地域理学療法で必要な視点と専門機関・職種を知る。
4. 多職種連携を通して、他職種の役割や自身の専門職としての強みを理解する。

### 授業計画

回	主 題
1	地域理学療法概論
2	医療保険・介護保険制度における理学療法とその役割
3	当事者における地域生活の実態
4	訪問リハビリテーション
5	通所リハビリテーション
6	地域包括ケアシステムについて
7	訪問看護
8	産業理学療法
9	放課後等デイサービス
10	予防理学療法
11	就労支援事業
12	行政における理学療法
13	多職種連携カンファレンス①
14	多職種連携カンファレンス②
15	多職種連携カンファレンス③

### 履修の認定

レポート課題、出席状況

### 教科書

講義用冊子、資料プリントを配布する。

### 参考書

1. 重森健太（編）：地域理学療法学第1版，羊土社：2015年
2. 浅川育世（編）：地域理学療法学第2版，医歯薬出版：2015年
3. 細田多穂（監）：生活環境学テキスト，南江堂：2016年
4. 鶴見隆正，他：現場から学ぶ自立支援のための住宅改修，医学書院：2007年

授 業 科 目	単 位 数	年 次	学 期	時 間 数	担 当 教 員
(必) 見学実習Ⅱ	1	4	後期	45	理学療法学科本校講師

### 授業概要

4年次に訪問リハビリテーション・通所リハビリテーション施設にて1週間の実習を行う。地域理学療法場面での経験を通して、地域包括ケアシステムにおける理学療法士の専門性と役割および責務を理解する。また、地域包括ケアシステムに関与する関連専門職種の役割も理解する。加えて、介護保険制度などについても理解を深めることが目標である。

### 学習目標

1. 対象者（および家族）の生活特性やニーズを理解し、適切なコミュニケーションがとれる。
2. 各事業所で提供しているサービス内容の特徴が理解できる。
3. 理学療法士および他職種の業務内容と役割が理解できる。
4. 地域における他職種との連携が理解できる。
5. 関係する保険制度（医療保険制度、介護保険制度など）について調べ示すことができる。

### 授業計画

実 習 期 間
臨床見学実習：臨床総合実習Ⅱの終了後、計1週間の見学実習を実施 実習終了後に実習内容の報告と検討を行うグループ討論会を実施

### 履修の認定

施設実習の取り組み 50%、臨床実習ポートフォリオ 30%、見学後グループ討論会 20%

### 教科書等

臨床見学実習の手引き

臨床実習教育の手引き 第6版 日本理学療法士協会 2020

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 臨床評価実習	3	2	後期	135	理学療法学科本校講師

### 授業概要

2年次に医療機関もしくは福祉施設における3週間の実習を行う。理学療法士として必要な情報の収集から障害像の把握、そして問題点の抽出までを範囲とする。この実習を通して理学療法評価のプロセスと基本的評価技術を系統的かつ段階的に経験し、障害評価の基本的理解と実践力を身につける。

### 学習目標

1. 理学療法評価の流れを理解することができる。
2. 評価計画を立案し、それを実施できる。
3. 障害像を把握し、それを基に問題点を抽出できる。
4. 将来の理学療法士にふさわしい態度を身につけることができる。

### 授業計画

実 習 期 間	
令和6年11月25日(月)～12月14日(土)	臨床評価実習
令和6年12月18日(水)～12月23日(金)	成果報告会 等

### 履修の認定

- 施設実習 60%
- 臨床実習ポートフォリオ 10%
- 成果報告会 20%
- 成果報告会資料 10%

### 教科書

臨床実習の手引き

### 参考書等

臨床実習教育の手引き 第6版 日本理学療法士協会 2020

授 業 科 目	単 位 数	年 次	学 期	時 間 数	担 当 教 員
(必) 臨床総合実習 I	7	3	後期	315	理学療法学科本校講師

### 授業概要

治療技術習得のための臨床実習の3年次開講分である。医療機関もしくは福祉施設における7週間の実習を1回行う。学内外で修得した知識と技術を、実習の対象者に応用し、将来理学療法士として対象者に接する際に必要な基本的知識・技術・態度を身につける。

### 学習目標

1. 基本的な理学療法評価の実践から統合と解釈、問題点の抽出をおこなうことができる。
2. 基本的な理学療法治療手技・指導を体験し実践することができる。
3. 臨床総合実習Ⅱに向け理学療法プロセスの展開について経験を積み実践することができる。
4. 専門職として適切な態度と習慣を身につけることができる。

### 授業計画

実 習 期 間	
令和7年1月13日(月)～3月1日(土)	臨床総合実習 I
令和7年3月3日(月)～3月14日(金)	成果報告会 等

### 履修の認定

- 臨床実習指導者の評価 60%
- 臨床実習ポートフォリオ 10%
- 成果報告会 15%
- 成果報告会資料 15%

### 教科書

臨床実習の手引き

### 参考書

臨床実習教育の手引き 第6版 日本理学療法士協会 2020



授 業 科 目	単 位 数	年 次	学 期	時 間 数	担 当 教 員
(必) 臨床総合実習Ⅱ	10	4	前期	450	理学療法学科本校講師

### 授業概要

4年次に医療機関もしくは福祉施設における10週間の実習を行う。学内外で修得した知識と技術を、実習の対象者に応用し、将来理学療法士として対象者に接する際に必要な基本的知識・技術・態度を身につける。

### 学習目標

1. 基本的な評価および治療・訓練・指導などを実践することができる。
2. 理学療法関連の問題を解決するための能力として、理学療法プロセスを適切に展開することができる。
3. 専門職として適切な態度と習慣を身につけることができる。

### 授業計画

実 習 期 間	
令和6年5月13日(月)～7月20日(土)	臨床総合実習Ⅱ
令和6年8月14日(水)～8月30日(金)	臨床実習後試験・成果報告会

### 履修の認定

- 臨床実習指導者の評価 40%
- 臨床実習後試験（ペーパー試験、実技試験）30%
- 臨床実習ポートフォリオ 10%
- 成果報告会 10%
- 成果報告会資料 10%

### 教科書

臨床実習の手引き

### 参考書

臨床実習教育の手引き 第6版 日本理学療法士協会 2020